

サモア独立国

貧困プロフィール

2012年3月

独立行政法人 国際協力機構（JICA）

当資料は政府・国際機関の報告書・統計・資料からの抜粋を邦訳し、執務参考資料として取り纏めたものであり、JICAの見解を示すものではありません。転載・引用に際しては、直接、出典元から行い、当資料からの転載・引用は行わないでください。

基盤
JR
12-130

目次

I. サモアの貧困の状況の概観	1
1. サモアの貧困状況概観	1
II. サモアの貧困削減のための政策枠組み	2
III. 所得貧困による分析	5
1. 貧困線とデータ	5
2. 貧困の状況—貧困率・貧困ギャップ率の分析	6
3. 貧困ギャップ率、二乗貧困ギャップ率の分析	7
4. 格差の分析—ジニ係数・所得階層の分析	8
IV. 所得貧困以外による分析	10
1. HDIによる経年変化の分析と地域国際比較	10
2. MDG 指標の分析	11
3. 食糧安全保障・脆弱性による分析	17
V. 社会的属性・特性と貧困との関連の分析	20
1. 社会的属性・特性による特長	20
(1) 大家族と貧困	20
(2) 世帯の子供の数と貧困	20
(3) ジェンダーと貧困	21
(4) 雇用と貧困	23
(5) 教育レベルと貧困	27
2. 社会的に排除されているグループの存在と貧困の関係	31
(1) 農村部での貧困問題	31
(2) 若者と貧困	33
VI. 貧困に影響を与えている要因およびリスク	35
1. 燃料・食糧価格の高騰	35
2. 自然災害	35
3. 気候変動	37
4. 海外からの送金	38
VII. JICA の優先課題における貧困	40
1. 環境・気候変動	40
2. 社会サービスの向上	40
3. インフラ整備	44
添付 1 参考文献リスト	47
添付 2 主要な情報源リスト	50

図表・地図目次

図表 1	主要指標一覧（2011 年）	v
図表 2	貧困率・貧困ギャップ率・二乗貧困率（2010 年）	vii
図表 3	HDI 指標の推移（2000 年-2011 年）	viii
図表 4	HDI 指標（男女別）の推移（1981 年 - 2001 年）	viii
図表 5	MDG 指標（1990 年 - 最新年）	ix
図表 6	貧困線（BNPL）（2008 年）	6
図表 7	貧困率（BNPL）（2008 年）	6
図表 8	貧困率の推移（2002 年及び 2008 年）	7
図表 9	貧困ギャップ率・二乗貧困ギャップ率の推移（2002 年及び 2008 年）	8
図表 10	ジニ係数（2002 年及び 2008 年）	8
図表 11	階層別の世帯所得の割合（2008 年）	9
図表 12	HDI 指標の推移（2000 年-2011 年）	10
図表 13	サモア、東アジア太平洋地域、世界の HDI の推移（1980 年-2011 年）	10
図表 14	HDI 指標（男女別）の推移（1981 年、1991 年、2001 年）	11
図表 15	MDG 指標（再掲）（2010 年）	12
図表 16	サモアの栄養不足人口の割合（1990-92 年、2000-02 年、2006-08 年）	17
図表 17	サモアと大洋州の栄養不足人口の割合（1990-92 年、2000-02 年、2006-08 年）	17
図表 18	食糧消費に占める自給率の割合（2008 年）	18
図表 19	アピヤ都市部の低所得階層世帯における主要な食糧消費品目の構成（2008 年）	19
図表 20	サバイー島の低所得階層世帯における主要な食糧消費品目の構成（2008 年）	19
図表 21	所得水準と世帯規模の関係（2008 年）	20
図表 22	所得階層毎の子供の割合と、世帯あたりの子供の数（2008 年）	21
図表 23	所得階層毎の子供の割合（2008 年）	21
図表 24	所得階層毎の女性世帯主世帯の割合（2008 年）	22
図表 25	所得階層毎の女性の割合（2008 年）	22
図表 26	所得階層毎の女性の割合（2008 年）	23
図表 27	所得階層毎の女性の割合（2008 年）	23
図表 28	農村部の所得階層・男女別就業形態（2008 年）	24
図表 29	都市部の所得階層・男女別就業形態（2008 年）	25
図表 30	農村部の経済活動人口の女性の所得階層別の就業形態（2008 年）	25
図表 31	都市部の経済活動人口の女性の所得階層別の就業形態（2008 年）	26
図表 32	農村部の経済活動人口の男性の所得階層別の就業形態（2008 年）	26
図表 33	都市部の経済活動人口の男性の所得階層別の就業形態（2008 年）	27

図表 34	農村部における所得階層別の学歴（2008年）	28
図表 35	都市部における所得階層別の学歴（2008年）	28
図表 36	所得階層と学歴との関連性（2010年）	29
図表 37	貧困率（BNPL）（2008年）	31
図表 38	貧困率の推移（2002年及び2008年）	32
図表 39	農村部における所得階層別の学歴（2008年）	32
図表 40	都市部における所得階層別の学歴（2008年）	33
図表 41	失業者の年齢別内訳（2006年）	34
図表 42	人口に占める BNPL 以下の人口の割合（2002年、2008年）	35
図表 43	サイクロン Heta のサモアの各世帯の食糧安全保障への影響（2004年）	36
図表 44	海外からの送金額の推移（2010年10月-2011年10月）	39
図表 45	都市部における所得階層と最高学歴の分布（2008年）	41
図表 46	農村部における所得階層と最高学歴の分布（2008年）	41
図表 47	水へのアクセスの形態（2008年）	42
図表 48	都市部での衛生設備に対するアクセス（2008年）	43
図表 49	農村部での衛生設備に対するアクセス（2008年）	43
図表 50	所得階層と調理に使用するエネルギー源の分布（2008年）	44
図表 51	世界銀行によるサモアへのインフラ支援の状況（2006年）	45
地図 1	サモア	xii

略語表

BNPL	Basic Need Poverty Line	基礎生活貧困線
EVI	Economic Vulnerability Index	経済脆弱性指標
FHHH	Female Headed Household	女性世帯主世帯
FPL	Food Poverty Line	食糧貧困線
HDI	Human Development Index	人間開発指標
HDR	Human Development Report	人間開発報告書
HIES	Household Income and Expenditure Survey	家計調査
MDG	Millennium Development Goals	ミレニアム開発目標
NHDR	National Human Development Report	国別人間開発報告書
OCHA	Office for Coordination of Humanitarian Affairs	国連人道調整局
PGI	Poverty Gap Index	貧困ギャップ率
SAT	Samoa Tala	サモアタラ
SPGI	Squared Poverty Gap Index	二乗貧困ギャップ率
UN	United Nations	国際連合（国連）

UNDP United Nations Development Programme

WFP World Food Programme

WB World Bank

国連開発計画

世界食糧計画

世界銀行（世銀）

図表 1 主要指標一覧¹ (2011年)

主要指標一覧【サモア】		2000年	2008年	2009年	2010年	2010年の地域平均値
社会指標等	地表面積(1000km ²)	3	3	3	3	n.a.
	人口(百万人)	0.177	0.182	0.182	0.183	2,201.570
	人口増加率(%)	0.8	0.3	0.3	0.4	0.7
	出生時平均余命(歳)	69	72	72	n.a.	n.a.
	妊産婦死亡率(/10万人)	n.a.	n.a.	n.a.	n.a.	n.a.
	乳児死亡率(/1000人)	19.6	17.8	17.5	17.3	18.8
	一人当たりカロリー摂取量(kcal/1日)*1	2,745	n.a.	n.a.	n.a.	n.a.
	初等教育総就学率(男)(%)	99.1	n.a.	103.2	106.5	n.a.
	初等教育総就学率(女)(%)	99.1	n.a.	102.7	108.6	n.a.
	中等教育総就学率(男)(%)	73.1	n.a.	78.2	79.3	n.a.
	中等教育総就学率(女)(%)	83.3	n.a.	90.3	90.7	n.a.
	高等教育総就学率(%)	7.4	n.a.	n.a.	n.a.	n.a.
	成人識字率(15歳以上の人口の内:%)	n.a.	n.a.	98.8	n.a.	n.a.
	絶対的貧困水準(1日1.25\$以下の人口比:%)	n.a.	n.a.	n.a.	n.a.	n.a.
失業率(%)	n.a.	n.a.	n.a.	n.a.	n.a.	
経済指標	GDP(百万USDドル)	246	568	525	574	16,184,757
	一人当たりGNI(USDドル)	1,420	2,770	2,870	3,000	7,118
	実質GDP成長率(%)	7.0	-3.7	-1.7	1.7	6.8
	産業構造(対GDP比:%)					
	農業	16.8	11.7	12.0	9.8	n.a.
	工業	26.0	28.8	26.3	28.2	n.a.
	サービス業	57.2	59.5	61.8	62.0	n.a.
	産業別成長率(%)					
	農業	0.1	-8.6	0.7	-11.2	2.9
	工業	13.6	-10.4	-8.1	8.1	n.a.
	サービス業	6.6	0.8	0.9	1.2	n.a.
	総資本形成率(対GDP比:%)	n.a.	n.a.	n.a.	n.a.	25.6
	貯蓄率(対GDP比:%)	n.a.	n.a.	n.a.	n.a.	28.2
	消費者物価上昇率(インフレ:%)	1.0	11.6	6.3	0.8	n.a.
	財政収支(対GDP比:%)	n.a.	n.a.	n.a.	n.a.	n.a.
	中央政府債務残高(対GDP比:%)	n.a.	n.a.	n.a.	n.a.	n.a.
	貿易収支(対GDP比:%)	-23.4	-21.3	-23.7	-26.8	2.6
	経常収支(対GDP比:%)	n.a.	-9.4	-1.8	-10.1	n.a.
	外国直接投資純流入額(百万ドル)	n.a.	46	10	1	n.a.
	対外債務残高(対GNI比:%)	56.1	36.6	49.0	56.6	n.a.
DSR(対外債務返済比率:%)	n.a.	4.2	4.7	5.2	n.a.	
総外貨準備高(輸入支払い可能月数)	n.a.	2.8	6.3	6.4	16.5	
総外貨準備高(百万ドル)	64	87	166	209	5,743,625	
名目対ドル為替レート*2	3.29	2.64	2.73	2.48	n.a.	
(Tala per US Dollar: Period Average)						
政治*3	政治体制:立憲君主制。議院内閣制					
憲法	憲法:1962年1月1日公布					
元首	元首:ツァアツァ・ツァア・タマセセ・エフィ(TUIATUA Tupua Tamasese Efi)。2007年6月20日就任。任期5年					
議会	議会:フォノ(Fono)。一院制。49議席。1991年4月から普通選挙を実施。非サモア人には2議席が割り当てられている					
選挙権	残り47議席の被選挙権は、マイ(首長)の称号を持つ者のみに限定。任期5年					
内閣	内閣:首相は議会が選出し元首が任命。任期5年。2006年4月21日第3次発足					
首相	首相 ツァエバ・サイレ・マリエカオイ(TUILAEP A Sailele Malielegaoi)					

出典 World Development Indicators Online (December 2011) World Bank

*1 FAO Food Balance Sheets (June 2010) FAOSTAT Homepage

*2 International Financial Statistics Online (January 2012) IMF

*3 世界年鑑 2011 共同通信社

注 ●地域平均値は東アジア・大洋州の数値(地域分類は別添参照)

●「人口」、「GDP」、「外国直接投資純流入額」及び「総外貨準備高」の「2010年の地域平均値」においては、地域の総数を示す

●妊産婦死亡率の数値はWHO・ユニセフ・国連人口基金(UNFPA)の評価を反映した推定値

●総就学率は、学齢人口に占める就学者総数(年齢を問わない)の割合であるため、数値が100を超えることがある

¹ JICA 研究所にて年3回改定。 <https://libportal.jica.go.jp/fmi/xsl/library/public/data/shihyo-p.html>

中央政府歳入・歳出【サモア】

	2005/06年 (百万ドル)	2006/07年 (百万ドル)	2007/08年 (百万ドル)	2007/08年		対ドルレート
				(百万US\$)*	対GDP比	
歳入+贈与受取額	388.2	486.7	454.9	175.0	30.9%	2.6
歳入	316.4	388.3	378.0	145.4	25.7%	
租税収入	272.9	334.1	330.2	127.0	22.4%	
非税収入	43.5	54.2	47.8	18.4	3.2%	
贈与受取額	71.8	98.5	76.9	29.6	5.2%	1,472
歳出+純貸付額	394.6	478.3	481.9	185.3	32.7%	
歳出	380.8	457.3	474.0	182.3	32.2%	
経常歳出	294.7	333.6	377.8	145.3	25.7%	
開発歳出	86.1	123.7	96.2	37.0	6.5%	
純貸付額	13.8	21.1	7.8	3.0	0.5%	
財政収支	-6.3	8.4	-27.0	-10.4	-1.8%	

歳出内訳(目的別分類)【サモア】

	2005/06年 (百万ドル)	2006/07年 (百万ドル)	2007/08年		2007/08年	
			(百万ドル)	内訳	(百万US\$)*	対GDP比
歳出	380.8	457.3	474.0	100.0%	182.3	32.2%
一般サービス	n.a.	n.a.	n.a.	n.a.	n.a.	n.a.
国防	n.a.	n.a.	n.a.	n.a.	n.a.	n.a.
公安	n.a.	n.a.	n.a.	n.a.	n.a.	n.a.
経済関連	n.a.	n.a.	n.a.	n.a.	n.a.	n.a.
環境保全	n.a.	n.a.	n.a.	n.a.	n.a.	n.a.
住宅・生活関連施設	n.a.	n.a.	n.a.	n.a.	n.a.	n.a.
保健・医療	n.a.	n.a.	n.a.	n.a.	n.a.	n.a.
レクリエーション・文化	n.a.	n.a.	n.a.	n.a.	n.a.	n.a.
教育	n.a.	n.a.	n.a.	n.a.	n.a.	n.a.
社会保障・福祉	n.a.	n.a.	n.a.	n.a.	n.a.	n.a.

注: 会計年度は7月～6月

*: 対ドル換算レートはPeriod Average

出典 IMF Country Report No. 10/214 July 2010 IMF

JICAの対サモア技術協力

通貨単位	2006年度	2007年度	2008年度	2009年度	2010年度	累計
億円	5.70	5.55	3.99	4.56	3.19	119.38
百万ドル	4.90	4.71	3.86	4.87	3.64	

注: 年の区切りは日本の会計年度(4月～3月)、また対ドル換算レートはOECD Homepageによる

出典: JICA技術協力実績

対サモアODA実績

《我が国》

(支出純額、単位: 百万ドル)

暦年	政府貸付等	無償資金協力	技術協力	合計
2005年	—	8.10	4.43	12.52
2006年	—	12.61	4.20	16.81
2007年	—	2.60	5.86	8.46
2008年	—	0.35	4.45	4.80
2009年	1.49	10.36	4.12	15.97
累計	1.49	187.03	98.63	287.17

《DAC諸国・国際機関》

(支出純額、単位: 百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	うち日本	合計
2006年	日本 16.81	オーストラリア 13.33	ニュージーランド 7.34	米国 0.75	スペイン 0.02	16.81	38.25
2007年	オーストラリア 12.89	日本 8.46	ニュージーランド 6.29	米国 1.02	カナダ 0.38	8.46	29.14
2008年	オーストラリア 12.43	ニュージーランド 7.62	日本 4.80	米国 0.83	英国 0.20	4.80	26.17

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	その他	合計
2006年	CEC 3.27	IDA 3.12	UNTA 0.84	UNDP 0.82	IFAD -0.06	0.74	8.73
2007年	IDA 5.95	CEC 2.24	UNTA 0.87	UNDP 0.56	IFAD -0.07	-1.41	8.14
2008年	CEC 9.37	IDA 1.86	ADB 0.51	UNDP 0.48	UNTA 0.12	0.44	12.78

注: 年の区切りは1月～12月の暦年。DAC集計ベース

出典: ODA国別データブック 2010 外務省

図表 2 貧困率・貧困ギャップ率・二乗貧困率² (2010 年)

Table 11				
Weekly Per Capita Basic Needs Poverty Lines				
SAT per capita per week	Food Poverty Line	Estimated Non-Food Expenditure	Basic Needs Poverty Line	Weekly cost per HH in L3D
	A	B	C = A+B	
National average	31.56	22.03	53.59	493.02
Apia Urban Area	31.56	28.39	59.95	533.97
North-West Upolu	31.56	26.24	57.80	559.23
Rest of Upolu	31.56	17.90	49.46	466.76
Sava'i	31.56	19.27	50.83	459.96

Table 14				
Depth (PGI) and Severity (SPGI) of Poverty				
	Poverty Gap Index (PGI)		Squared Poverty Gap Index (SPGI)	
	2002	2008	2002	2008
National average	6.6	8.2	2.7	2.9
Apia Urban Area	6.5	8.8	2.2	3.4
North-West Upolu	8.8	8.0	3.9	2.6
Rest of Upolu	4.0	8.7	1.6	3.2
Sava'i	5.4	8.3	2.2	3.0

(出所) Government of Samoa and UNDP (2010), A report on the estimation of basic needs poverty line, and the incidence and the characteristics of hardship & poverty, p.29, p33

²http://www.undp.org.ws/Portals/12/News%20Room/Publications/Poverty%20Report/SAM_Poverty_Analysis_Report_Final_280310.pdf

図表 3 HDI 指標の推移 (2000 年-2011 年)³

Human Development Index				Rank: 95
Year	Samoa	Medium human development	East Asia and the Pacific	World
2011	0.688	0.630	0.671	0.682
2010	0.686	0.625	0.666	0.679
2009	0.685	0.618	0.658	0.676
2008	0.688	0.612	0.651	0.674
2007	0.684	0.605	0.642	0.670
2006	0.682	0.595	0.631	0.664
2005	0.676	0.587	0.622	0.660
2000	0.657	0.548	0.581	0.634

図表 4 HDI 指標 (男女別) の推移⁴ (1981 年 - 2001 年)

TABLE 1: HUMAN DEVELOPMENT INDEX 1981-2001

	1981	1991	2001
National	0.651	0.714	0.798
Male	0.641	0.705	0.790
Female	0.663	0.722	0.805

Source: See Annex 1.

ANNEX 1: HUMAN DEVELOPMENT INDEX 1981-2001

1981	Adult Literacy	Combined gross enrolment ratio	Education attainment	Life Expectancy	Life expectancy index	GDP per capital (US\$)	GDP index	Human Development Index
Samoa	97.0	83.0	0.923	62.6	0.626	1151	0.407	0.651
Male	97.0	81.4	0.918	61.0	0.600	1151	0.407	0.641
Female	97.0	84.7	0.929	64.3	0.655	1151	0.407	0.663

1991	Adult Literacy	Combined gross enrolment ratio	Education attainment	Life Expectancy	Life expectancy index	GDP per capital (US\$)	GDP index	Human development index
Samoa	95.7	85.7	0.924	64	0.65	2975	0.566	0.714
Male	95.5	83.9	0.918	63	0.63	2975	0.566	0.705
Female	95.9	87.9	0.929	65	0.67	2975	0.566	0.722

2001	Adult literacy	Combined gross enrolment ratio	Education attainment	Life expectancy	Life expectancy index	GDP per capital (US\$)	GDP index	Human development index
Samoa	98.2	86.1	0.942	72.8	0.797	5005	0.653	0.798
Male	98.0	84.4	0.935	71.8	0.780	5005	0.653	0.790
Female	98.5	88.0	0.950	73.8	0.813	5005	0.653	0.805

Source: Various Population Censuses 1981, 1991, 2001; Fairbairn 1981; Treasury Department 1981

(出所) UNDP Institutions, Sustainable livelihoods in a changing Samoa p.56, p.201

³ UNDP International Human Development Indicators, Samoa, <http://hdrstats.undp.org/en/countries/profiles/WSM.html> (2012/02/07 アクセス)

⁴ <http://hdr.undp.org/en/reports/national/asiathepacific/samoa/name,2792,en.html>

图表 5 MDG 指标⁵ (1990 年 - 最新年)

SAMOA'S MDG TARGETS - CONTEXTUALIZED						
MDG	MDG Targets	MDG Indicators	1990	1995	2002	Latest year
MDG1: Eradicate Extreme Poverty & Hunger	Target 1.A: Halve, between 1990 and 2015, the proportion of people whose income is less than one dollar a day	1.1 Proportion of population below Food Poverty Line	-	-	10.6	4.9 (2008)
		1.2 Poverty gap ratio	-	-	6.6	8.2 (2008)
		1.3 Share of poorest quintile in national consumption	-	-	5.2	4.3 (2008)
	Target 1.B: Achieve full and productive employment and decent work for all, including women and young people	1.4 Growth rate of GDP per person employed	-	3.18 (1999)	2.85	4.71 (2009)
		1.5 Employment-to-population ratio	-	-	25.3 (2001)	30 (2009)
		1.6 Proportion of employed people living below \$1 (PPP) per day	NA	-	-	NA
	Target 1.C: Halve between 1990 and 2015, the proportion of people who suffer from hunger	1.8 Prevalence of underweight children under-five years of age	6.6	-	1.9 (1999)	-
		1.9 Proportion of population below minimum level of dietary energy consumption	-	-	10.6 (2002)	4.9 (2008)
	MDG 2: Achieve universal primary education	Target 2.A: Ensure that, by 2015, children everywhere, boys and girls alike, will be able to complete a fullcourse of primary schooling	2.1 Net enrolment ratio in primary education	93 (1991)	-	85 (2004)
2.2 Proportion of pupils starting grade 1 who reach last grade of primary			-	-	82.9 (2004)	83.3 (2010)
2.3 Literacy rate of 15-24 year-olds, women & men			96 (1991)	-	99.5 (2003)	75.1 (2006)
MDG 3: Promote gender equality and empower women	Target 3.A: Eliminate gender disparity in primary and secondary education, preferably by 2005, and in all levels of education no later than 2015	3.1 Ratio of girls to boys in primary, secondary and tertiary education	0.98 1.06 1.66	-	0.93 1.04 1.43	0.97 1.13 1.56
		3.2 Share of women in wage employment in the non-agricultural sector	31	-	37.6 (2005)	53.9 (2009)
		3.3 Proportion of seats held by women in national parliament	4%	-	6.1%	8.1 % (2009)
		3.4 Proportion of Cabinet Posts held by Women	7.69%	7.69%	7.69	23.01% (2009)

⁵ http://www.mof.gov.ws/Portals/195/Services/Aid%20Coordination/mdg_report.pdf

MDG	MDG Targets	MDG Indicators	1990	1995	2002	Latest year
		5.5 Proportion of Senior Management Position (CEOs/A/CEO) held by women in Public Sector			20.3% (2001)	53.9% (2009)
		5.6 Proportion of Matai Titles held by Women			12% (2001)	20% (2006)
MDG 4: Reduce child mortality	Target 4.A: Reduce by two-thirds, between 1990 and 2015, the under-five mortality rate	4.1 Under-five mortality rate/1000	42		25	15.0 (2009)
		4.2 Infant mortality rate/1000	33		19.2(2001)	9.0 (2009)
		4.3 Proportion of 1 year-old children immunized against measles			31 (2001)	53.6 (2009)
MDG 5: Improve maternal health	Target 5.A: Reduce by three quarters, between 1990 and 2015, the maternal mortality ratio	5.1 Maternal mortality ratio (per 100000)	74		46	
		5.2 Proportion of births attended by skilled health personnel	76 (1991)		90 (2001)	97 (2009)
	Target 5.B: Achieve, by 2015, universal access to reproductive health	5.3 Contraceptive prevalence rate	18 (1991)	24.5 (1998)		17.8 (2009)
		5.4 Adolescent birth rate/1000	26 (1992)	38 (1999)	34 (2000)	44 (2009)
		5.5 Antenatal care coverage (at least one visit and at least four visits)	55 (1991)		89 (2006)	93 (2009)
		5.6 Unmet need for family planning	NA	-	-	46 (2009)
MDG 6: Combat HIV/AIDS, malaria and other diseases	Target 6.A: Have halted by 2015 and began to reverse the spread of HIV/AIDS	6.1 HIV prevalence among population aged 15-24 years			0.2/1000 (2004)	
		6.2 Condom use at last high-risk sex	NA	-	-	14.7 (2009)
		6.3 Proportion of population aged 15-24 years with comprehensive correct knowledge of HIV/AIDS	0	-	-	56.7 (2009)
	Target 6.B: Achieve, by 2010, universal access to treatment for HIV/AIDS for all those who need it					91.6 (2009)
	Target 6.C: Have halted by 2015 and began to reverse the incidence of NCDs – malaria is not found in	6.5 Prevalence of Diabetes and Obesity	5.5% (1978)	-	23.3%(2001)	-
		6.6 Prevalence of Hypertension	27% (1978)		26% (2001)	

MDG	MDG Targets	MDG Indicators	1990	1995	2002	Latest year
	Samoa	6.7 Number of Suicide Death	21 (2000)		26 (2005)	
		6.9 Incidence, and death rates associated with tuberculosis	-	18.29 1.1 (2002)	0.0 0.0 (2007)	-
		6.10 Proportion of tuberculosis cases detected and cured under directly observed treatment short course	-	54 80 (2002)	0 0 (2007)	-
Goal 7: Ensure environmental sustainability	Target 7.A: Integrate the principles of sustainable development into country policies and programmes; and reverse the loss of environmental resources	7.1 Proportion of land area covered by forest	46 (1991)		60 (1999)	60 (2005)
		7.2 CO2 emissions, total, per capita and per \$1 GDP (PPP)			1.5 (2000)	1.96 (2007)
		7.3 Consumption of ozone-depleting substances	4.5 (1991)			2.2 (2008)
		7.4 Proportion of fish stocks within safe biological limits	-	-	-	-
		7.5 Proportion of total water resources used	-	-	-	72% Surface water
	Target 7.B: Reduce biodiversity loss, achieving, by 2010, a significant reduction in the rate of loss	7.6 Proportion of terrestrial and marine areas protected	0.8 (1991)		1.8 (2005)	8 (2010)
		7.7 Proportion of species threatened with extinction	14 (1990)		30 (2006)	
	Target 7.C: Halve, by 2015, the proportion of people without sustainable access to safe drinking water and basic sanitation	7.8 Proportion of population using an improved drinking water source	-	-	88.6 (2001)	97.3 (2006)
		7.9 Proportion of population using an improved sanitation facility	88 (1991)	-	-	93.5 (2006)
	Target 7.D: By 2020, to have achieved a significant improvement in the lives of at least 100 million slum dwellers	7.10 Proportion of urban population living in slums	NA-	-	-	NA

(出所) UNDP (2010) Government of Samoa Millennium Development Goals Second progress report 2010,

地図 1 サモア⁶



⁶ UNOCHA

http://reliefweb.int/sites/reliefweb.int/files/resources/FDA9B723C05008EEC1256F2D004801D0-Samoa_rel_98.jpg

I. サモアの貧困の状況の概観

1. サモアの貧困状況概観

サモアは、人口約 18.2 万人、ウポル島とサバイー島の 2 つの主要な島と、3 つの小さな島から構成される島嶼国であり、1962 年に太平洋島嶼国の中で初の独立国となって以降、安定的な政権を保ちながら、農業、沿岸漁業、観光等を中心に成長してきた⁷。サモアでは、1997 年、2002 年、2008 年に家計調査 (Household Income and Expenditure Survey: HIES) が実施され、最新の HIES は 2,012 世帯を対象に実施された。同調査によると、サモアの貧困線以下の世帯の割合は、全国で 20.1%、人口割合では 26.9%となっている⁸。地域別では、サバイー島の貧困率が最も高く、世帯割合で 21.9%、人口割合で 28.8%となっている。人口に占める貧困層の割合は農村部で高い傾向が見られ、2002 年の前回調査と 2008 年の調査を比較した場合、ウポル島では 15.1%から 26.6%へ、サバイー島では 19.1%から 28.8%へと上昇している。また、貧困ギャップ率 (PGI) 及び二乗貧困ギャップ率 (SPGI) に関しても、PGI が全国レベルでは、6.6 から 8.2 へと 1.6 ポイント上昇する一方、ウポル島とサバイー島の貧困ギャップ率は、前者が 4.0 から 8.7 へ、後者が 5.4 から 8.3 へと悪化⁹を示しており、農村部での貧困率悪化に加え、貧困の程度も悪化していることが推察される。2002 年から 2008 年の 6 年間、サモア経済は比較的好調であったが、貧困指標で測る限り、格差は拡大し、経済成長が十分には貧困削減に結びつかなかった。このため、経済成長の恩恵が、貧困層に行きわたるよう、雇用創出型の経済成長が求められている¹⁰。

所得以外の側面に関しては、サモアの 2011 年の HDI をみると、0.688 となっており、187 か国中 99 位に位置付けられている¹¹。2000 年から 2011 年のサモア の HDI と、東アジア大洋州の地域平均 HDI と比較した場合、サモア の HDI は、東アジア大洋州平均を僅かに上回っており、比較的良好な生活環境であることが伺える。また、MDGs に関しては、目標 5 の妊産婦の健康の改善、目標 6 の HIV / エイズ、マラリア、その他の疾病の蔓延の防止に関して、達成が危ぶまれる項目が複数見られるものの、その他の目標は概ね達成か、達成圏内となっており、比較的良好な進捗が示されている。

⁷ Government of Samoa and UNDP (2010) A report on the estimation of basic needs poverty line, and the incidence and the characteristics of hardship & poverty, p.9

⁸ 同上, p. 31

⁹ 同上, p. 33

¹⁰ 同上, p. 6

¹¹ UNDP International Human Development Indicators, Samoa, <http://hdrstats.undp.org/en/countries/profiles/WSM.html> (2012/02/07 アクセス)

II. サモアの貧困削減のための政策枠組み12

2008年5月に発表された現行の国家開発計画（Strategy for the Development of Samoa 2008 - 2012 “ensuring sustainable economic and social progress¹³⁾”）は、2005年から2007年を対象とした開発計画の成果の振返りと、2008年から2012年を対象とした開発計画の2章から構成されている。

貧困に関しては、冒頭の1980年から2005年の経済社会開発の概要の中で、サモアに貧困事象を示す公式な数字は存在しないとしながらも、参加型貧困評価において機会の貧困（poverty of opportunity）から生ずる困難を経験している相当数の世帯が確認されたと指摘している¹⁴。また、機会の貧困については、基礎サービスへのアクセスの欠如、世帯の基礎的なニーズや慣習的な義務を満たすための適切な資源の欠如、コミュニティーの社会経済生活に参加するための機会の欠如、の3つの形態によって示されるとし、脆弱なグループとして、土地を所有しない個人と世帯、失業者（特に、首都アピア近郊に移動した若者に主に見られるスキルのない若者）、単一収入世帯、孤立した農村分の世帯、子供の数の多い世帯、家族の支援のない高齢者、障害者を挙げている¹⁵。

2005年から2007年を対象とした国家開発計画の成果の振返りに関しては、民間セクター強化、農業開発、観光開発、コミュニティー開発、教育開発、保健開発から構成される6つの戦略的目標毎に、取組みとその成果を記述している。民間セクター強化に関しては、マクロ経済の安定、インフラや電力、水、通信、輸送の効率的・効果的な提供、効率的・効果的な行政、貿易自由化の継続から構成され、マクロ経済の安定について、2005年から2007年の間、目標とする経済成長率を3-4%上回ったとし、予算や外貨準備高についても肯定的な評価を与えている¹⁶。インフラや電力、水、通信、輸送の効率的・効果的な提供に関しては、サモア水道公社による水供給へのアクセスが、全人口の88%に到達したこと、電話の普及率が100人当たり56台と予想の2倍以上伸びたこと、輸送については Faleolo - Apia 間の道路補修等が実施され道路が改善したこと、航空料金引き下げにより国際航空輸送サービスが改善したこと等が成果として挙げられている¹⁷。行政に関しては、多くの省庁においてサービス憲章が策定・適用されたこと、中期支出枠組みを含む6つのセクター計画が策定されてこと等が成果として挙げられている。また、投資促進に関しては、税や港湾費用の見直し、通関簡素化の適用等の成果が挙げられている。農業開発に関しては、食糧安全保障強化、農産物生産、漁業、林業、牧畜開発への商業投資促進、農漁業省強化の3点から構成され、食糧安全保障に関しては、根菜類や伝統作物の生産支援等の施策を実施

¹² サモアの PRSP は策定されていない。また、近年の一人あたり GDP の成長等により LDC の卒業が見込まれているが、気候変動を含む自然災害に対する脆弱性等を理由に、LDC と見なされ続けている。

¹³ <http://www.sprep.org/att/IRC/eCOPIES/Countries/Samoa/104.pdf> (2012/0207 アクセス)

¹⁴ Ministry of Finance (2008) Strategy for the Development of Samoa 2008 - 2012 “ensuring sustainable economic and social progress, p4

¹⁵ 同上

¹⁶ 同上, pp.4-8

¹⁷ 同上

したとしている。農業生産については、2005年に15.5%上昇したが、2006年は6.6%の減少を記録し、依然、天候の影響を受けやすい状況にあることが指摘されている¹⁸。観光開発に関しては、マーケティング戦略の改善、インフラ及び人材開発に注力した結果、サモア訪問者は2005年に7.5%、2006年に20.4%、2007年も9月までの累計で前年同期比11.2%の増加を記録し、観光による外貨収入も2005年に7.6%、2006年に19.8%増加し、約249百万ドルを記録したとして、肯定的に評価している¹⁹。コミュニティー開発に関しては、小規模企業センター（Small Business Enterprise Centre :SBEC）、ビジネス開発における女性（Women in Business Development :WIBDI）等により研修、マイクロ・クレジットを通じた資金アクセスが提供され、約3000人の小規模事業者に対して研修機会が提供され、約1000件の事業が資金プログラムの恩恵を受けたとしている²⁰。教育に関しては、教員や教材の質改善、カリキュラムや評価の改善等が注力分野とされ、教員に対する継続的な研修の実施、国家カリキュラム政策枠組みの実施、EFA達成に向けたコミュニティー学習センターの設置、手話等を含む多様な教材の開発、学校でのコンピューター利用等が成果として挙げられている²¹。保健に関しては、効率的な予防、保健人材の育成、施設・機材の改善等が重点分野とされ、結核・はしか・ジフテリア・百日咳の予防接種プログラムを実施し、95%以上をカバーしたこと、医師の労働条件改善、心臓、外科、整形外科、眼科、精神科等の専門医を招聘しての研修実施、看護師に対する研修実施、世界銀行の支援を得たTupua Tamasese Meaole 国立病院の近代化、JICAの支援を得たサバイーのMalietoa Tanumafili II 病院の改修等が成果として挙げられている²²。

2008年から2012年を対象とした国家開発計画では、国民の生活の質の改善（"Improve Quality of Life for All"）をビジョンとして掲げ、下記の3分野を重点分野と定め、7つの目標を掲げている²³。貧困との関係では、民間セクターでの雇用創出や、コミュニティー開発の文脈での経済社会福利の改善を目指すことが示されているほか、教育や保健の改善等、所得以外の貧困の側面についても改善を目指す内容となっている。

国家開発戦略 2008 - 2012 の 3 重点分野と 7 つの目標

優先分野 1：経済政策

目標 1：マクロ経済安定の維持

目標 2：民間セクター主導の経済成長と雇用創出

優先分野 2：社会政策

目標 3：教育成果の改善

¹⁸ Ministry of Finance (2008) Strategy for the Development of Samoa 2008 - 2012 "ensuring sustainable economic and social progress, pp.8-9

¹⁹ 同上, p9

²⁰ 同上, p10

²¹ 同上, pp.10-11

²² 同上, pp.12-13

²³ 同上, p14

目標 4 : 保健成果の改善

目標 5 : コミュニティー開発 (経済社会福利の改善と村のガバナンス向上)

優先分野 3 : 公共セクター管理及び環境持続性

目標 6 : ガバナンスの改善

目標 7 : 環境持続性と災害リスク削減

2012年3月現在、2008年から2012年を対象とした国家開発計画の進捗や成果に関するサモア政府による評価は実施されていないが、目標1のマクロ経済安定の維持、目標2の民間セクター主導の経済成長と雇用創出に関し、2009年時点では、世界的な景気の減速を受け、経済は5.5%のマイナス成長となり、正規雇用も2008年6月から2009年6月にかけて、9.3%の減少を記録している²⁴。また、目標7の一部である災害リスク削減に関しては、2009年の津波により、インフラや観光施設の損害に加え、5,000人を超える人が、直接的な影響を受けたとされている。

²⁴ ADB (2010) “ Proposed Program Cluster and Loan for Subprogram 1 Independent State of Samoa: Economic Recovery Support Program”, p1,
<http://www2.adb.org/Documents/RRPs/SAM/43191-sam-rrp.pdf>

III. 所得貧困による分析

1. 貧困線とデータ

貧困関連のデータは、家計調査（HIES）をもとに作成されている。HIES は、1997 年、2002 年、2008 年の 3 回実施されており、現行の最新版である 2008 年の HIES は、2,012 世帯を対象に実施された²⁵。HIES は、首都アピアがあるアピア都市部（Apia Urban Area）、ウポル島北西部（North-West Upolu）、ウポル島（Rest of Upolu）、サバイー島（Savaii）の 4 地域の世帯を対象に実施され、サンプルとなる世帯の構成は、アピア 396 世帯、ウポル島北西部 648 世帯、ウポル島 498 世帯、サバイー島 470 世帯となっている²⁶。

サモアでは、貧困線は食糧貧困線（FPL）と基礎生活貧困線（BNPL）の 2 種類あり、これらの貧困線・基準は、MDGs で活用されている 1 日 1 ドル（購買力平価）未満で生活する人口の割合という貧困基準とは異なる基準で貧困が論じられていることに留意が必要である²⁷。食糧貧困線（Food Poverty Line : FPL）は、成人の平均カロリー摂取量である 2,100~2,200 カロリーを摂取するために必要な費用から算出された貧困線であり、UNDP の報告書によると、サモアにおける 2008 年の家計調査の FPL は 1 人 1 日当たり約 4.51 サモアタラ（SAT）²⁸、週当たり 31.56SAT と推計されている。一方、基礎生活貧困線（Basic Need Poverty Line : BNPL）は、FPL に住宅、教育、保健、衣類、水道、電気代、交通費などの最低限の生活費用を足し合わせた貧困線であり、上記 UNDP の報告書によると、サモアの 2008 年家計調査時の国レベルでの BNPL は、1 人 53.59SAT/週と推計されている。世帯単位で BNPL をみると、国レベルでは、493.02SAT/週となっており、1 人あたりの BNPL が最も高いウポル島北西部では、559.23SAT、次いでアピア都市部 533.97SAT、ウポル島 466.76SAT、サバイー島 459.96SAT の順となっており、地方部での BNPL の低さは、非食糧支出の少なさに起因している²⁹。このように、サモアでは、FPL と BNPL の 2 種類が存在するが、サモアにおける「貧困（Incidence of Poverty）」とは、基礎生活貧困線（BNPL）以下の所得の世帯を意味している³⁰。

²⁵ Government of Samoa (2008) Household Income and Expenditure Survey, Tabulation Report 2008, p2, <http://www.sbs.gov.ws/LinkClick.aspx?fileticket=9JbQZKwGq%2fA%3d&tabid=5547&language=en-US>

²⁶ 同上。なお、HIES（2008）、及び左記家計調査を基に貧困分析を行っている UNDP の報告書のいずれにおいても、Urban の定義はなされていない。

²⁷ Government of Samoa and UNDP (2010) A report on the estimation of basic needs poverty line, and the incidence and the characteristics of hardship & poverty, p2、サモアでは、購買力平価（PPP）に関する指数が整備されていないため、PPP ベースで 1 日 1 ドル未満を貧困基準とする指標は整備されていない。

²⁸ 1 タラ（SAT 又は WST）=34.44 円（JICA 平成 23 年度 2 月精算レートによる）

http://www.jica.go.jp/announce/manual/form/consul_g/pdf/rate_2011.pdf

²⁹ 同上, p.3

³⁰ 同上, pp.16-17

図表 6 貧困線 (BNPL) ³¹ (2008 年)

Table 11				
Weekly Per Capita Basic Needs Poverty Lines				
SAT per capita per week	Food Poverty Line	Estimated Non-Food Expenditure	Basic Needs Poverty Line	Weekly cost per HH in L3D
	A	B	C = A+B	
National average	31.56	22.03	53.59	493.02
Apia Urban Area	31.56	28.39	59.95	533.97
North-West Upolu	31.56	26.24	57.80	559.23
Rest of Upolu	31.56	17.90	49.46	466.76
Sava'i	31.56	19.27	50.83	459.96

(出所) Government of Samoa and UNDP (2010) A report on the estimation of basic needs poverty line, and the incidence and the characteristics of hardship & poverty, p.29

2. 貧困の状況—貧困率・貧困ギャップ率の分析

2008 年の家計調査によると、貧困線 (BNPL) 以下の世帯の割合は、全国で 20.1%、人口割合では 26.9%となっている。地域別では、世帯割合と人口割合で数値は異なるが、貧困率が最も高い地域は、サバイー島 (世帯割合 21.9%、人口割合 28.8%)、次いでウポル島 (20.5%、26.6%)、ウポル島北西部 (19.4%、26.8%)、アピヤ都市部 (17.2%、24.4%) の順となっている。

図表 7 貧困率 (BNPL) ³² (2008 年)

Incidence of Poverty		
Proportion of HH and Population with Weekly Per Capita Expenditure less than the Basic Needs Poverty Line		
%	Households	Population
	Basic Needs	Basic Needs
National average	20.1	26.9
Apia Urban Area	17.2	24.4
North-West Upolu	19.4	26.8
Rest of Upolu	20.5	26.6
Sava'i	21.9	28.8

(出所) Government of Samoa and UNDP (2010) A report on the estimation of basic needs poverty line, and the incidence and the characteristics of hardship & poverty, p.3

³¹ http://www.undp.org/ws/Portals/12/News%20Room/Publications/Poverty%20Report/SAM_Poverty_Analysis_Report_Final_280310.pdf

³² 同上

図表 8 貧困率の推移（2002 年及び 2008 年）³³

Table 13				
Incidence of Poverty				
Proportion of HH and Population with Weekly Per Capita Expenditure less than Basic Needs Poverty Line				
%	Households		Population	
	2002	2008	2002	2008
National average	19.1	20.1	22.9	26.9
Apia Urban Area	20.1	17.2	25.9	24.4
North-West Upolu	23.8	19.4	29.5	26.8
Rest of Upolu	13.4	20.5	15.1	26.6
Savai'i	17.6	21.9	19.1	28.8

(出所) Government of Samoa and UNDP (2010) A report on the estimation of basic needs poverty line, and the incidence and the characteristics of hardship & poverty, p.31

アピヤ都市部とウポル島北西部の人口に占める貧困層の割合は、2002 年の前回調査から大きな変化はみられていない。一方、人口に占める貧困層の割合は農村部で高い傾向が見られ、2002 年の前回調査と比較し、ウポル島では 15.1%から 26.6%へ、サバイー島では 19.1%から 28.8%へと上昇している。こうしたウポル島やサバイー島の貧困層人口増加の背景要因として、ウポル島において、多数を雇用していた矢崎総業（矢崎 EDS サモア株式会社）の従業員削減や、非食糧消費への需要の高まりが指摘されている³⁴。

3. 貧困ギャップ率、二乗貧困ギャップ率の分析

図表 9 は、貧困ギャップ率 (PGI) 及び二乗貧困ギャップ率 (SPGI) の経年変化と地方別の値を示している。貧困の深刻度の平均を示す貧困ギャップ率は、2008 年の家計調査では 8.2% (全国レベル) となっている。貧困ギャップ率は、貧困層の消費水準の貧困ラインからの不足分を示しており、もし、非貧困者が貧困線と同等の消費をしたうえで、貧困者層が貧困線相当の消費を行おうとすると 8.2%の不足となる事を示している。

2002 年から 2008 年までの変化に関しては、PGI が全国レベルでは、6.6 から 8.2 へと 1.6 ポイント上昇している。地域別に見ると、ウポル島とサバイー島の貧困ギャップ率は、前者が 4.0 から 8.7 へと 4.7 ポイント悪化、後者が 5.4 から 8.3 と 3.9 ポイントの悪化を示す一方、ウポル島北西部では、8.8 から 8.0 へと改善を示している。二乗貧困ギャップ率に関しても、貧困ギャップ率と同様の変化がみられ、農村部での貧困率悪化に加え、必要不可欠な食糧や、非食糧品の価格上昇に直面し、貧困の程度も悪化していることが推察され

³³ http://www.undp.org/ws/Portals/12/News%20Room/Publications/Poverty%20Report/SAM_Poverty_Analysis_Report_Final_280310.pdf (2012/2/15 アクセス)

³⁴ Government of Samoa and UNDP (2010) A report on the estimation of basic needs poverty line, and the incidence and the characteristics of hardship & poverty, p.4

る³⁵。

図表 9 貧困ギャップ率・二乗貧困ギャップ率の推移（2002年及び2008年）³⁶

Table 14				
Depth (PGI) and Severity (SPGI) of Poverty				
	Poverty Gap Index (PGI)		Squared Poverty Gap Index (SPGI)	
	2002	2008	2002	2008
National average	6.6	8.2	2.7	2.9
Apia Urban Area	6.5	8.8	2.2	3.4
North-West Upolu	8.8	8.0	3.9	2.6
Rest of Upolu	4.0	8.7	1.6	3.2
Sava'i	5.4	8.3	2.2	3.0

(出所) Government of Samoa and UNDP (2010) A report on the estimation of basic needs poverty line, and the incidence and the characteristics of hardship & poverty, p.33

4. 格差の分析—ジニ係数・所得階層の分析

2002年から2008年にかけて、全レベルのジニ係数は0.43から0.47と上昇しており、格差は拡大していると言える。また、地域別では、アピア都市部で0.4から0.48との0.08ポイントの増加を記録するなど、全ての地域で2002年より数値が上昇しており、格差が拡大していること示唆している。また、階層別の世帯所得を見ると所得階層の下位10%の所得全体に占める割合が1.9%に対して、所得階層上位10%は、33.8%を占めており、所得の格差が大きいことが分る。

図表 10 ジニ係数（2002年及び2008年）³⁷

Gini Coefficients of Inequality		
	HH Gini Coefficients	
	2002	2008
National average	0.43	0.47
Apia Urban Area	0.40	0.48
North-West Upolu	0.40	0.46
Rest of Upolu	0.39	0.44
Sava'i	0.41	0.46

(出所) Government of Samoa and UNDP (2010) A report on the estimation of basic needs poverty line, and the incidence and the characteristics of hardship & poverty, p.34

³⁵ 同上, p.34

³⁶ http://www.undp.org/ws/Portals/12/News%20Room/Publications/Poverty%20Report/SAM_Poverty_Analysis_Report_Final_280310.pdf (2012/2/15 アクセス)

³⁷ 同上

図表 11 階層別の世帯所得の割合 (2008 年)³⁸

Table 2.7. Household Total Income Distribution by income Decile

National Weekly Income Decile	Number of Households		Weekly Income	
	Households	Percent	Total	Percent
Samoa	25123	100	17428183	100
1st Decile	2520	10	327886	1.9
2nd Decile	2510	10	565645	3.2
3rd Decile	2505	10	744752	4.3
4th Decile	2517	10	921318	5.3
5th Decile	2515	10	1110338	6.4
6th Decile	2514	10	1365377	7.8
7th Decile	2509	10	1629087	9.3
8th Decile	2510	10	2055430	11.8
9th Decile	2514	10	2816091	16.2
10th Decile	2511	10	5892259	33.8

(出所) Government of Samoa (2008) Household Income and Expenditure Survey, Tabulation Report 2008,

p.53

³⁸ <http://www.sbs.gov.ws/LinkClick.aspx?fileticket=9JbQZKwGq%2fA%3d&tabid=5547&language=en-US>
(2012/2/15 アクセス)

IV. 所得貧困以外による分析

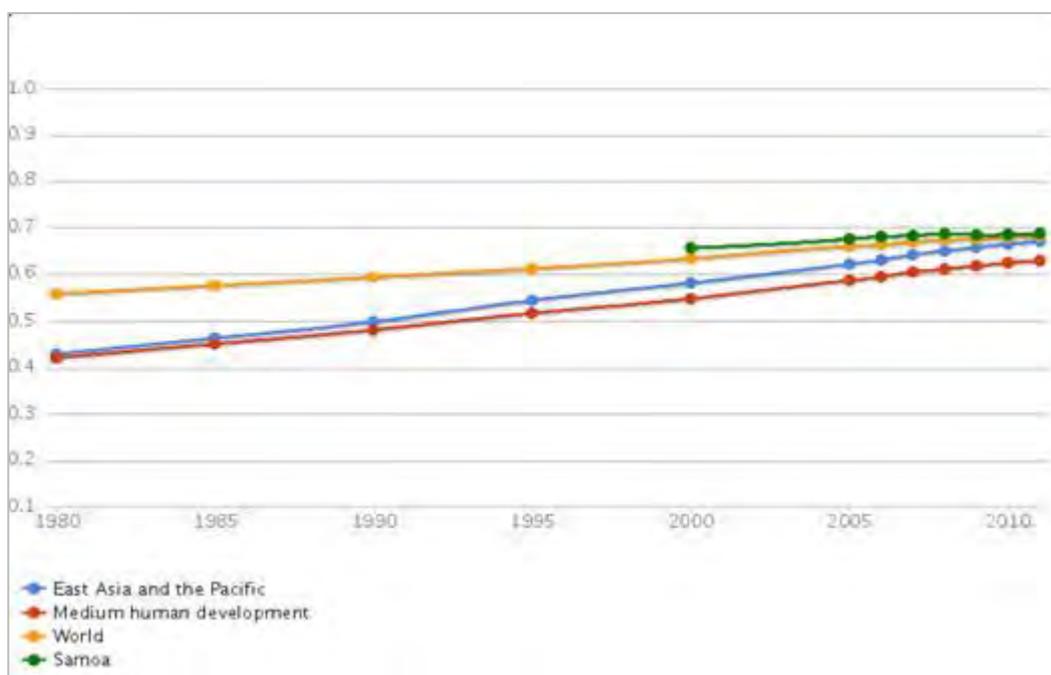
1. HDI による経年変化の分析と地域国際比較

サモアの 2000 年から 2011 年の HDI の推移を見ると、2000 年の 0.657 から、2011 年の 0.688 と僅かながらも上昇しており、2011 年の HDI は、187 か国中 99 位となっている³⁹。また、2000 年から 2011 年のサモア の HDI と、東アジア大洋州の地域平均 HDI と比較した場合、サモア の HDI は、東アジア大洋州平均を僅かに上回っている。

図表 12 HDI 指標の推移 (2000 年-2011 年)⁴⁰

Human Development Index				Rank: 99
Year	Samoa	Medium human development	East Asia and the Pacific	World
2011	0.688	0.630	0.671	0.682
2010	0.686	0.625	0.666	0.679
2009	0.685	0.618	0.658	0.676
2008	0.688	0.612	0.651	0.674
2007	0.684	0.605	0.642	0.670
2006	0.682	0.595	0.631	0.664
2005	0.676	0.587	0.622	0.660
2000	0.657	0.548	0.581	0.634

図表 13 サモア、東アジア太平洋地域、世界の HDI の推移 (1980 年-2011 年)⁴¹



³⁹ UNDP International Human Development Indicators, Samoa, <http://hdrstats.undp.org/en/countries/profiles/WSM.html> (2012/02/07 アクセス)

⁴⁰ 同上

⁴¹ 同上

図表 14 HDI 指標（男女別）の推移⁴²（1981年、1991年、2001年）

TABLE 1: HUMAN DEVELOPMENT INDEX 1981-2001

	1981	1991	2001
National	0.651	0.714	0.798
Male	0.641	0.705	0.790
Female	0.663	0.722	0.805

Source: See Annex I.

（出所）UNDP Institutions, Sustainable livelihoods in a changing Sāmoa p.56, p.201

2. MDG 指標の分析⁴³

サモアの MDGs 各目標の 1990 年からの推移は下図表のとおりである。極度の貧困と飢餓の撲滅に関しては、食糧貧困の人口に占める割合は低く、目標を達成する見込みであるが、基礎生活貧困線（BNPL）を基準とした貧困削減は、目標を外れているとの指摘がなされている。初等教育の完全普及に関しては、目標達成が見込まれているが、若年層の識字率が、2003 年の 99.5%から 2006 年には 75.1%に低下するなど、識字について懸念が示されている。ジェンダー平等推進と女性の地位向上に関しては、女兒の教育目標については達成見込みであるが、男児の教育目標、女性のエンパワメント目標について、達成が懸念されている。乳幼児死亡率の削減に関しては、5 歳未満の乳幼児死亡率の目標は達成が見込まれているが、予防接種目標については達成が懸念される状況にある。妊産婦の健康の改善に関しては、妊産婦死亡率は、目標達成が見込まれるが、リプロダクティブ・ヘルスについては、達成が懸念される状況にある。HIV/ エイズ、マラリア、その他の疾病の蔓延の防止に関しては、HIV/ エイズの治療への普遍的アクセスの実現は目標達成が見込まれる一方、HIV の蔓延予防やマラリア及びその他の主要な疾病の発生に関する目標については、達成が危ぶまれる状況にあるとされている。

⁴² <http://hdr.undp.org/en/reports/national/asiathepacific/samoa/name,2792,en.html> (2012/2/15 アクセス)

⁴³ UNDP (2010) Government of Samoa Millennium Development Goals Second progress report 2010, p.5, http://www.mof.gov.ws/Portals/195/Services/Aid%20Coordination/mdg_report.pdf (2012/2/15 アクセス)

图表 15 MDG 指标⁴⁴ (再揭) (2010 年)

SAMOA'S MDG TARGETS - CONTEXTUALIZED						
MDG	MDG Targets	MDG Indicators	1990	1995	2002	Latest year
MDG1: Eradicate Extreme Poverty & Hunger	Target 1.A: Halve, between 1990 and 2015, the proportion of people whose income is less than one dollar a day	1.1 Proportion of population below Food Poverty Line	-	-	10.6	4.9 (2008)
		1.2 Poverty gap ratio	-	-	6.6	6.3 (2008)
		1.3 Share of poorest quintile in national consumption	-	-	5.2	4.5 (2008)
	Target 1.B: Achieve full and productive employment and decent work for all, including women and young people	1.4 Growth rate of GDP per person employed	-	3.18 (1999)	2.85	4.71 (2009)
		1.5 Employment-to-population ratio	-	-	25.3 (2001)	30 (2009)
		1.6 Proportion of employed people living below \$1 (PPP) per day	NA	-	-	NA
	Target 1.C: Halve between 1990 and 2015, the proportion of people who suffer from hunger	1.8 Prevalence of underweight children under-five years of age	6.6	-	1.9 (1999)	-
		1.9 Proportion of population below minimum level of dietary energy consumption	-	-	10.6 (2002)	4.9 (2006)
	MDG 2: Achieve universal primary education	Target 2.A: Ensure that, by 2015, children everywhere, boys and girls alike, will be able to complete a full course of primary schooling	2.1 Net enrolment ratio in primary education	93 (1991)	-	85 (2004)
2.2 Proportion of pupils starting grade 1 who reach last grade of primary			-	-	82.9 (2004)	83.3 (2010)
2.3 Literacy rate of 15-24 year-olds, women & men			96 (1994)	-	99.5 (2003)	75.1 (2006)
MDG 3: Promote gender equality and empower women	Target 3.A: Eliminate gender disparity in primary and secondary education, preferably by 2005, and in all levels of education no later than 2015	3.1 Ratios of girls to boys in primary, secondary and tertiary education	0.98 1.06 1.66	-	0.93 1.04 1.43	0.97 1.13 1.56
		3.2 Share of women in wage employment in the non-agricultural sector	31	-	37.6 (2005)	53.9 (2009)
		3.3 Proportion of seats held by women in national parliament	4%	-	6.1%	8.1 % (2009)
		3.4 Proportion of Cabinet Posts held by Women	7.69%	7.69%	7.69	23.01% (2009)

⁴⁴ http://www.mof.gov.ws/Portals/195/Services/Aid%20Coordination/mdg_report.pdf

MDG	MDG Targets	MDG Indicators	1990	1995	2002	Latest year	
		3.5 Proportion of Senior Management Position (CEOs/A/CEO) held by women in Public Sector			20.3% (2001)	53.9% (2009)	
		3.6 Proportion of Matai Titles held by Women			12% (2001)	20% (2006)	
MDG 4: Reduce child mortality	Target 4.A: Reduce by two-thirds, between 1990 and 2015, the under-five mortality rate	4.1 Under-five mortality rate/1000	42		25	15.0 (2009)	
		4.2 Infant mortality rate/1000	33		19.2(2001)	9.0 (2009)	
		4.3 Proportion of 1 year-old children immunized against measles			31 (2001)	53.6 (2009)	
MDG 5: Improve maternal health	Target 5.A: Reduce by three quarters, between 1990 and 2015, the maternal mortality ratio	5.1 Maternal mortality ratio (per 100000)	74		46		
		5.2 Proportion of births attended by skilled health personnel	76 (1991)		90 (2001)	97 (2009)	
	Target 5.B: Achieve, by 2015, universal access to reproductive health	5.3 Contraceptive prevalence rate	18 (1991)	24.5 (1998)		17.8 (2009)	
		5.4 Adolescent birth rate/1000	26 (1992)	38 (1999)	34 (2000)	44 (2009)	
		5.5 Antenatal care coverage (at least one visit and at least four visits)	55 (1991)		89 (2006)	93 (2009)	
		5.6 Unmet need for family planning	NA	-	-	46 (2009)	
MDG 6: Combat HIV/AIDS, malaria and other diseases	Target 6.A: Have halted by 2015 and begun to reverse the spread of HIV/AIDS	6.1 HIV prevalence among population aged 15-24 years			0.2/1000 (2004)		
		6.2 Condom use at last high-risk sex	NA	-	-	14.7 (2009)	
		6.3 Proportion of population aged 15-24 years with comprehensive correct knowledge of HIV/AIDS	0			56.7 (2009)	
	Target 6.B: Achieve, by 2010, universal access to treatment for HIV/AIDS for all those who need it					91.6 (2009)	
	Target 6.C: Have halted by 2015 and begun to reverse the incidence of NCDs – malaria is not found in	6.5 Prevalence of Diabetes and Obesity	5.5% (1978)			23.3%(2001)	
		6.6 Prevalence of Hypertension	27% (1978)			26% (2001)	

MDG	MDG Targets	MDG Indicators	1990	1995	2002	Latest year
	Samoa	6.7 Number of Suicide Death	21 (2000)		26 (2005)	
		6.9 Incidence, and death rates associated with tuberculosis	-	18.29 1.1 (2002)	0.0 0.0 (2007)	-
		6.10 Proportion of tuberculosis cases detected and cured under directly observed treatment short course	-	54 80 (2002)	0 0 (2007)	-
Goal 7: Ensure environmental sustainability	Target 7.A: Integrate the principles of sustainable development into country policies and programmes and reverse the loss of environmental resources	7.1 Proportion of land area covered by forest	46 (1991)		60 (1999)	60 (2005)
		7.2 CO2 emissions, total, per capita and per \$1 GDP (PPP)			1.5 (2000)	1.96 (2007)
		7.3 Consumption of ozone-depleting substances	4.5 (1991)			2.2 (2008)
		7.4 Proportion of fish stocks within safe biological limits	-	-	-	-
		7.5 Proportion of total water resources used	-	-	-	72% Surface water
	Target 7.B: Reduce biodiversity loss, achieving, by 2010, a significant reduction in the rate of loss	7.6 Proportion of terrestrial and marine areas protected	0.8 (1991)		1.8 (2005)	8 (2010)
		7.7 Proportion of species threatened with extinction	14 (1990)		30 (2006)	
	Target 7.C: Halve, by 2015, the proportion of people without sustainable access to safe drinking water and basic sanitation	7.8 Proportion of population using an improved drinking water source	-	-	88.6 (2001)	97.3 (2006)
		7.9 Proportion of population using an improved sanitation facility	88 (1991)	-	-	93.5 (2006)
	Target 7.D: By 2020, to have achieved a significant improvement in the lives of at least 100 million slum dwellers	7.10 Proportion of urban population living in slums	NA-	-	-	NA

MDG	MDG Targets	MDG Indicators	1990	1995	2002	Latest year
Goal 8: Develop a global partnership for development	Target 8.A: Develop further an open, rule-based, predictable, non-discriminatory trading and financial system (Includes a commitment to good governance, development and poverty reduction – both nationally and internationally)	<i>Some of the indicators listed below are monitored separately for the least developed countries (LDCs), Africa, landlocked developing countries and small island developing States.</i> Official development assistance (ODA)				
	Target 8.B: Address the special needs of the least developed countries (Includes: tariff and quota free access for the least developed countries' exports; enhanced programme of debt relief for heavily indebted poor countries (HIPC) and cancellation of official bilateral debt; and more generous ODA for countries committed to poverty reduction)	8.1 Net ODA, total and to the least developed countries, as percentage of OECD/DAC donors' gross national income				
	Target 8.C: Address the special needs of landlocked developing countries and small island developing States <i>(through the Programme of Action for the Sustainable Development of Small Island Developing States and the outcome of the twenty-second special session of the G-4)</i>	8.2 Proportion of total bilateral, sector-allocable ODA of OECD/DAC donors to basic social services (<i>basic education, primary health care, nutrition, safe water and sanitation</i>)			35.6 (2000)	41.2 (2010)
		8.3 Proportion of bilateral official development assistance of OECD/DAC donors that is untied			24.3 (2000)	69.5 (2010)
		8.5 ODA received in small island developing States as a proportion of their gross national incomes	28.94			7.78 (2008)
	Target 8.D: Deal comprehensively with the debt problems of developing countries through national and international measures in order to make debt sustainable in the long term	Market access 8.6 Proportion of total developed country imports (by value and excluding arms) from developing countries and least developed countries, admitted free of duty	NA	NA	NA	NA
		8.7 Average tariffs imposed by developed countries on agricultural products and textiles and clothing from developing countries				
		8.8 Agricultural support estimate for OECD countries as a percentage of their GDP				

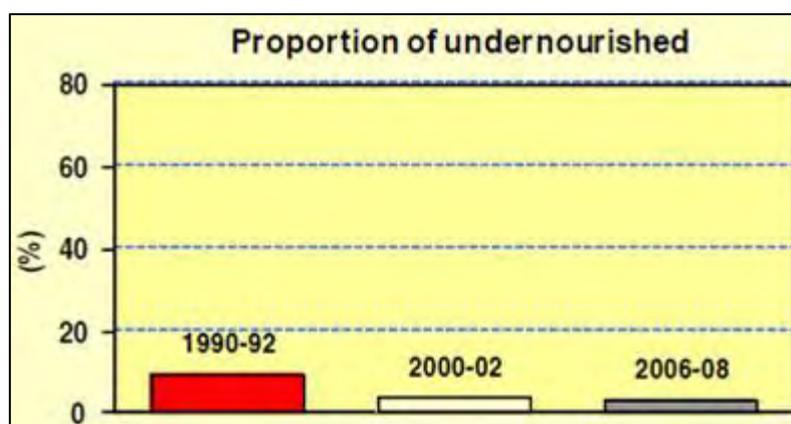
MDG	MDG Targets	MDG Indicators	1990	1995	2002	Latest year
		8.9 Proportion of ODA provided to help build trade capacity			11.4 (2005)	31.49 (2010)
		Debt sustainability 8.10 Total number of countries that have reached their HIPC decision points and number that have reached their HIPC completion points (cumulative)				
		8.11 Debt relief committed under HIPC and MDRI Initiatives	0			15% (2009)
		8.12 Debt service as a percentage of exports of goods and services	10.6			7.7 (2008)
	Target 8.E: In cooperation with pharmaceutical companies, provide access to affordable essential drugs in developing countries	8.13 Proportion of population with access to affordable essential drugs on a sustainable basis	NA			NA
	Target 8.F: In cooperation with the private sector, make available the benefits of new technologies, especially information and communications	8.14 Telephone lines per 100 population	2.54			16.1 (2008)
8.15 Cellular subscribers per 100 population		0			67.32 (2008)	
8.16 Internet users per 100 population		0			5.03 (2008)	

(出所) UNDP (2010), Government of Samoa Millennium Development Goals Second progress report 2010, pp.6-8.

3. 食糧安全保障・脆弱性による分析

サモアの食糧安全保障は、自給自足を主とした農業や漁業により、比較的良好な状況にある⁴⁵。FAOの統計によると、サモアの栄養不足人口の割合は、1990年-92年の調査では12%であったが、2000年-02年、2006年-08年の調査では、いずれも5%未満となっている。サモアの栄養不足人口の割合は、大洋州の平均と比較しても低く、国レベルでの分析では、食糧安全保障の状況は比較的良好であると言える。

図表 16 サモアの栄養不足人口の割合⁴⁶ (1990-92年、2000-02年、2006-08年)



(出所) FAO Global Statistics Service - Food Security Indicators, Samoa

図表 17 サモアと大洋州の栄養不足人口の割合 (1990-92年、2000-02年、2006-08年)

<i>Selected statistics</i>	<i>1990-92</i>	<i>2000-02</i>	<i>2006-08</i>
<i>1. Population (thousand)</i>	<i>162.6</i>	<i>177.4</i>	<i>178.9</i>
<i>2. Food consumption (kcal/person/day)</i>	<i>2550</i>	<i>2810</i>	<i>2890</i>
<i>3. Number of undernourished (thousand) - WFS indicator</i>	<i>14.7</i>		
<i>4. Prevalence of undernourishment (%) - MDG indicator</i>			
<i>Samoa</i>	<i>9</i>	<i><5</i>	<i><5</i>
<i>Oceania</i>	<i>12</i>	<i>13</i>	<i>12</i>

(出所) 同上

また、サモアの各地域や所得階層別の食糧消費に占める自給率の割合は、下図表のとおりとなっている。食糧の自給自足維持は、自然災害や食糧価格上昇局面において、世帯の食糧安全保障にとって重要である⁴⁷。ウポル島農村部の低所得層の食糧消費に占める自給率の割合は、55%と最も高くなっており⁴⁸、農村部で高い傾向がみられる。一方、アピア都

⁴⁵ Government of Samoa and UNDP (2010), A report on the estimation of basic needs poverty line, and the incidence and the characteristics of hardship & poverty, p.9

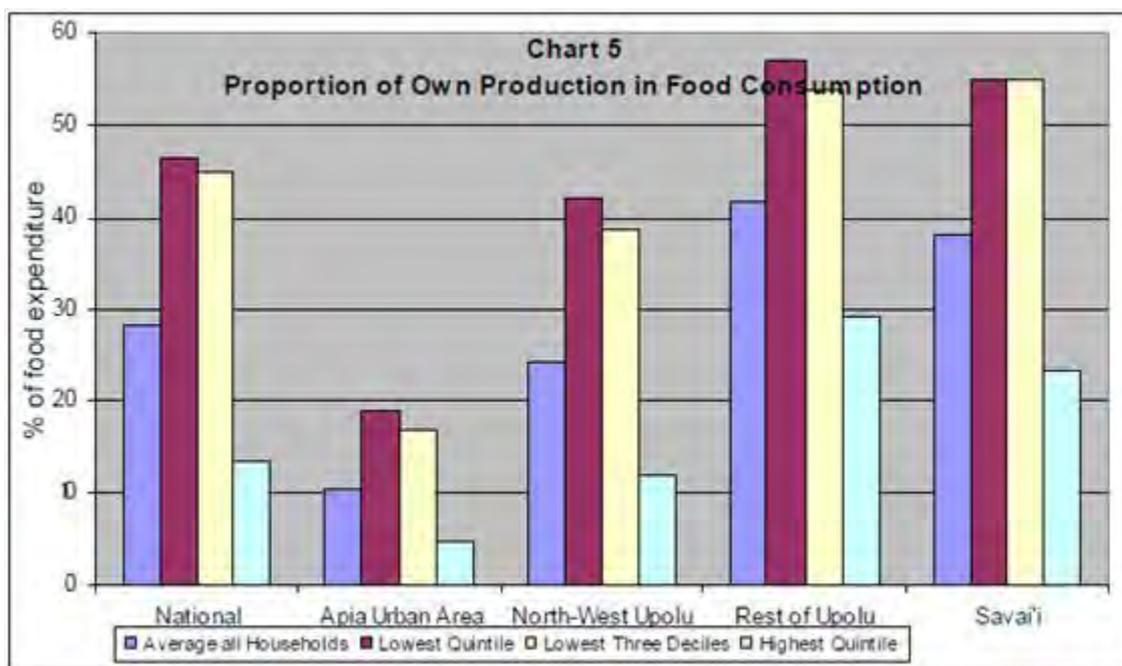
⁴⁶ http://www.fao.org/fileadmin/templates/ess/documents/food_security_statistics/monitoring_progress_by_country_2003-2005/Samoa_e.pdf (2012/2/15 アクセス)

⁴⁷ 同上

⁴⁸ Government of Samoa and UNDP (2010), p.25

市部の低所得層の同割合は 19%と低く、農村部と都市部で、食糧消費に占める自給自足の程度に大きな差異があることがわかる。さらに、アピア都市部とサバイー島の低所得階層世帯における主要な食糧消費品目を比較した場合、アピア都市部の世帯では、購入・輸入した食品が食糧消費の半分を占めるのに対し、サバイー島では、食糧消費に占める輸入品目の割合は約 1/4 となっており、食糧価格が上昇する局面において、サバイー島の低所得者層の方が、アピア都市部の低所得者層より、食糧安全保障上の脆弱性は低くなっている⁴⁹。

図表 18 食糧消費に占める自給率の割合⁵⁰ (2008 年)

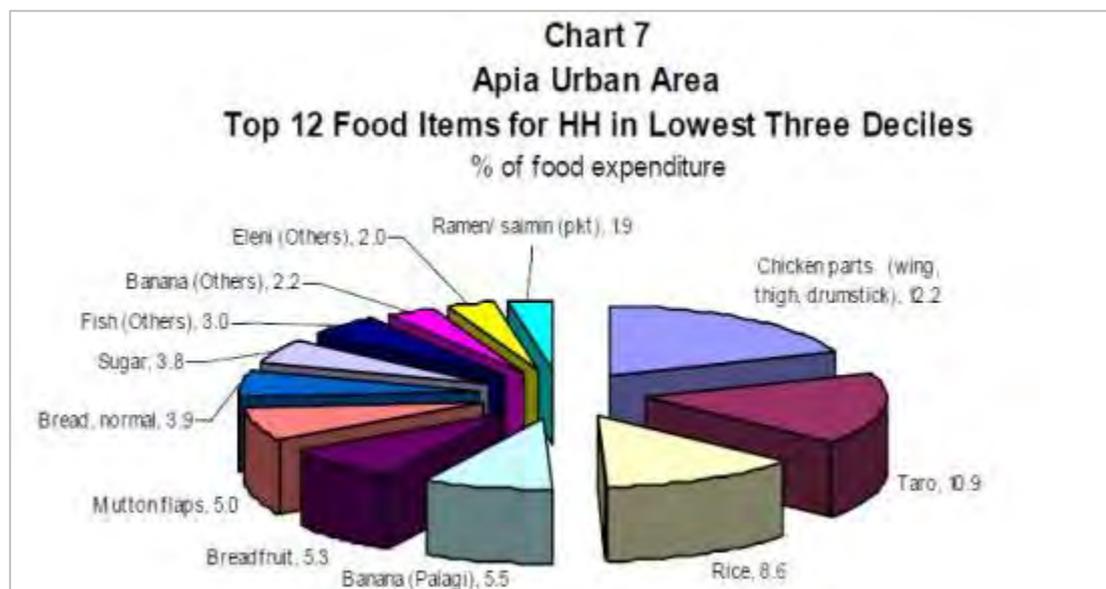


(出所) Government of Samoa and UNDP (2010), A report on the estimation of basic needs poverty line, and the incidence and the characteristics of hardship & poverty, p.25

⁴⁹ 同上

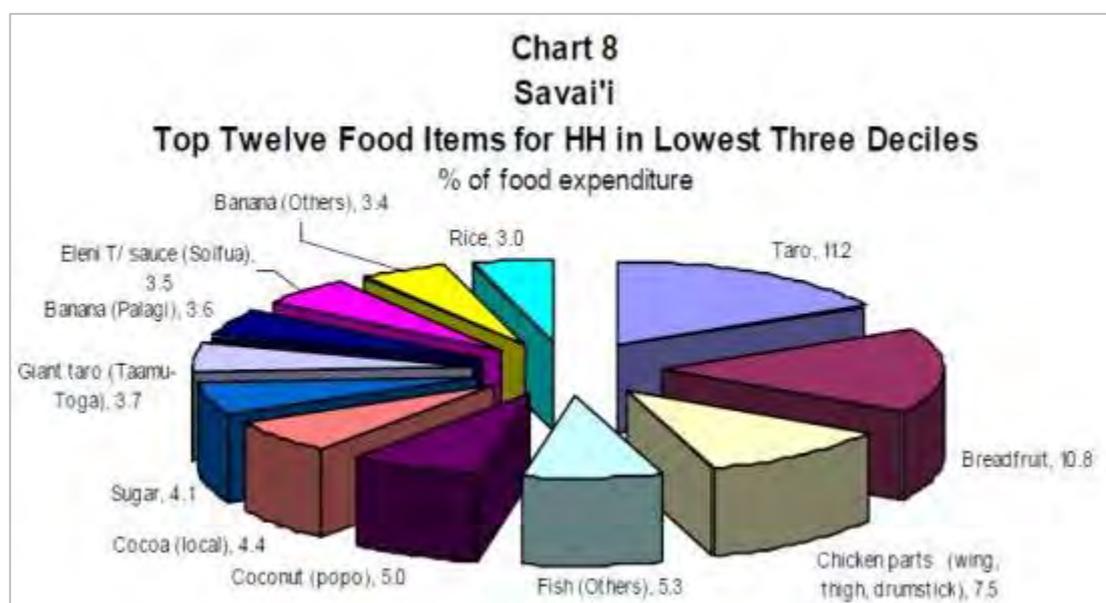
⁵⁰ http://www.undp.org/ws/Portals/12/News%20Room/Publications/Poverty%20Report/SAM_Poverty_Analysis_Report_Final_280310.pdf

図表 19 アピア都市部の低所得階層世帯における主要な食糧消費品目の構成（2008 年）⁵¹



(出所) Government of Samoa and UNDP (2010), A report on the estimation of basic needs poverty line, and the incidence and the characteristics of hardship & poverty, p27

図表 20 サバイー島の低所得階層世帯における主要な食糧消費品目の構成（2008 年）⁵²



(出所) Government of Samoa and UNDP (2010), A report on the estimation of basic needs poverty line, and the incidence and the characteristics of hardship & poverty, p.27

⁵¹ http://www.undp.org/ws/Portals/12/News%20Room/Publications/Poverty%20Report/SAM_Poverty_Analysis_Report_Final_280310.pdf

⁵² 同上

V. 社会的属性・特性と貧困との関連の分析

1. 社会的属性・特性による特長

(1) 大家族と貧困

2008年の家計調査によると、サモアにおける1世帯の平均規模は、7.3人となっている。所得階層下位20%に属する世帯の世帯規模の全国平均は、9.8人となっており、世帯規模の最も大きいウポル北西部の所得階層下位20%の世帯では10.1人となっている。所得の低い世帯の世帯規模が大きい一方、所得階層上位20%の世帯規模は、全国平均4.6人、世帯規模の最も大きいウポル北西部でも所得階層上位20%の世帯規模は、4.6人であり、都市部、農村部の区別無く、所得の高い層では世帯の規模が小さく、所得の低い層では、世帯の規模が大きい。

図表 21 所得水準と世帯規模の関係⁵³ (2008年)

Table 2 Household Size										
Ranked by per capita HH expenditure deciles	National		Apia Urban Area		North-West Upolu		Rest of Upolu		Savai'i	
	All Persons	Adult Equivalent	All Persons	Adult Equivalent	All Persons	Adult Equivalent	All Persons	Adult Equivalent	All Persons	Adult Equivalent
Average all Households	7.3	5.8	6.8	5.5	7.3	5.9	7.7	6.1	7.3	5.7
Lowest Quintile	9.8	7.5	9.3	7.3	10.1	7.8	9.9	7.8	9.3	7.1
Lowest Three Deciles	9.2	7.1	8.9	7.0	9.7	7.6	9.4	7.3	9.0	6.9
Highest Quintile	4.6	3.6	4.1	3.5	4.6	3.9	5.5	4.6	4.8	4.1
Total Population (survey est)	192468	146008	17369	30110	87814	49500	44114	35485	43293	34083

(出所) Government of Samoa and UNDP (2010), A report on the estimation of basic needs poverty line, and the incidence and the characteristics of hardship & poverty, p.21

(2) 世帯の子供の数と貧困

サモアでは、全人口の39.9%が15歳以下の子供であり、国全体では、約30%の子供が所得階層下位20%の世帯に属し、約43%の子供が所得階層下位30%の世帯に属している。一方、所得階層上位20%の世帯には約10%の子供しか属しておらず、子供の多くは貧しい世帯に属していることがわかる⁵⁴。世帯あたりの子供の数に関しては、所得の最も低い階層では、子供の数が4.8と多いのに対し、所得の最も高い階層では、子供の数が1.2となっており、世帯の所得が高くなるに従い、世帯あたりの子供の数が減少する傾向がみられる。

⁵³ http://www.undp.org.ws/Portals/12/News%20Room/Publications/Poverty%20Report/SAM_Poverty_Analysis_Report_Final_280310.pdf

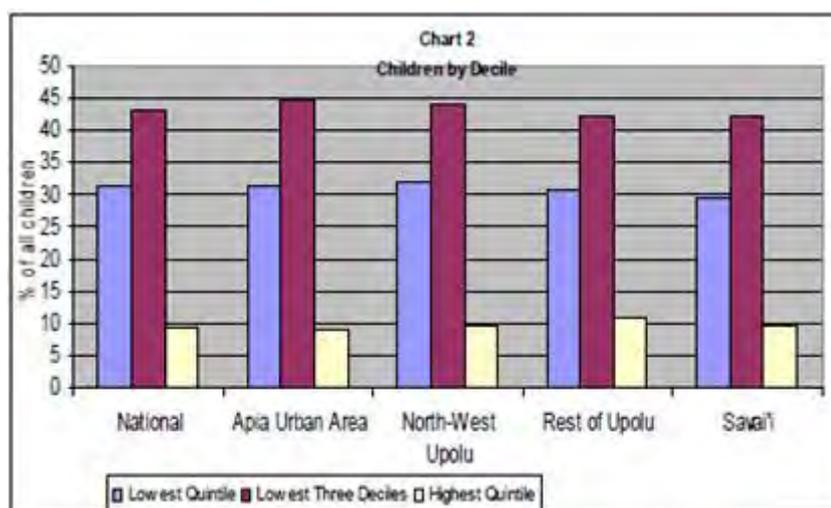
⁵⁴ Government of Samoa and UNDP (2010), A report on the estimation of basic needs poverty line, and the incidence and the characteristics of hardship & poverty, p.36

図表 22 所得階層毎の子供の割合と、世帯あたりの子供の数⁵⁵ (2008 年)

Table A3 Children by Decile and Region										
Ranked by per capita HH expenditure deciles	National		Apia		North-West Upolu		Rest of Upolu		Sava'i	
	% of children	Children per HH	% of children	Children per HH	% of children	Children per HH	% of children	Children per HH	% of children	Children per HH
Decile 1	16.5	4.8	17.7	4.8	17.3	5.0	15.9	5.0	15.1	4.7
Decile 2	14.9	4.3	13.8	3.5	14.8	4.2	14.7	4.5	14.4	4.4
Decile 3	11.7	3.4	13.4	3.5	12.1	3.4	11.7	3.6	12.9	4.0
Decile 4	11.7	3.4	11.6	3.0	12.3	3.5	10.3	3.1	10.4	3.2
Decile 5	10.6	3.1	9.8	2.5	10.3	2.9	11.1	3.4	10.7	3.3
Decile 6	9.9	2.9	8.1	2.1	9.6	2.8	8.6	2.7	10.5	3.2
Decile 7	8.0	2.3	9.5	2.4	8.4	2.4	9.4	2.9	8.7	2.7
Decile 8	7.3	2.1	6.9	1.8	5.6	1.6	7.3	2.2	7.8	2.5
Decile 9	5.4	1.6	5.3	1.4	5.5	1.6	6.8	2.1	5.9	1.8
Decile 10	4.1	1.2	3.9	1.0	4.1	1.2	3.9	1.2	3.7	1.1
Total/Average	100.0	2.9	100.0	2.8	100.0	2.9	100.0	3.1	100.0	3.1
Total number of Children	72865		14116		22627		17698		18425	
Bottom Quintile	15.7	4.8	15.7	4.1	16.0	4.6	15.3	4.7	14.7	4.8
Lowest three deciles	14.4	4.2	14.9	3.9	14.7	4.2	14.1	4.3	14.1	4.4
Top Quintile	4.8	1.4	4.6	1.2	4.8	1.4	5.4	1.6	4.6	1.5

(出所) Government of Samoa and UNDP (2010), A report on the estimation of basic needs poverty line, and the incidence and the characteristics of hardship & poverty, p.48

図表 23 所得階層毎の子供の割合⁵⁶ (2008 年)



(出所) Government of Samoa and UNDP (2010), A report on the estimation of basic needs poverty line, and the incidence and the characteristics of hardship & poverty, p.21

(3) ジェンダーと貧困

サモアでは女性がコミュニティーの中で重要な役割を担う等しており、また、政府は、1991 年に女性省を設置し、女性の経済、社会的地位の向上に努めている⁵⁷。サモアにおける女性世帯主世帯 (Female House Hold Head: FHHH) の数は 5,496 世帯で、全世帯の 21.9% にあたる。所得階層下位 20% の世帯のうち FHHH の割合は 17.4% (FHHH 全体の 15.9% に

⁵⁵ http://www.undp.org/ws/Portals/12/News%20Room/Publications/Poverty%20Report/SAM_Poverty_Analysis_Report_Final_280310.pdf

⁵⁶ 同上

⁵⁷ ADB (2000), Assessment of Socio-Environmental Performance 2001-2003, <http://www.adb.org/documents/caps/SAM/0103.asp> (2012/02/09 アクセス)

相当)であり、所得階層下位 30%の世帯のうち FHHH の割合は 17.5% (FHHH 全体の 23.9% に相当) となっている。また、所得階層上位 20%の世帯のうち、21.8%が FHHH (FHHH 全体の 19.9%) となっており、サモアでは世帯主の性別が貧困状態に与える影響は、比較的小さいと言える⁵⁸。但し、全国レベルでは、女性の 37.4%が所得階層下位 30%の世帯に属しており、所得階層上位 20%の世帯に属する女性の割合は 12.9%に留まっている。また、ウポル島北西部では、女性の約 40%が所得階層下位 30%の世帯に属している。これらより、サモアでは世帯主の性別が貧困状態に与える影響は、比較的小さいが、貧困層世帯に女性が多く、経済活動において、女性が潜在的に不利益を被っている可能性が示唆されている⁵⁹。

図表 24 所得階層毎の女性世帯主世帯の割合⁶⁰ (2008 年)

Table 3					
Proportion of Households Headed by Females By Decile					
Ranked by per capita HH expenditure deciles	National	Apia Urban Area	North-West Upolu	Rest of Upolu	Sava'i
Average all Households	21.9	24.0	21.3	21.5	21.1
Lowest Quintile	17.4	19.0	20.9	23.2	11.7
Lowest Three Deciles	17.5	20.3	21.6	21.5	10.6
Highest Quintile	21.8	23.8	20.0	27.0	32.6

(出所) Government of Samoa and UNDP (2010), A report on the estimation of basic needs poverty line, and the incidence and the characteristics of hardship & poverty, p.22

図表 25 所得階層毎の女性の割合⁶¹ (2008 年)

Table 17					
Proportion of Females By Decile					
Ranked by per capita HH expenditure deciles	National	Apia Urban Area	North-West Upolu	Rest of Upolu	Sava'i
All Households	48.6	49.2	48.9	47.6	48.5
Lowest Quintile	26.6	25.7	27.4	25.7	25.5
Lowest Three Deciles	37.4	36.8	39.9	36.9	37.0
Highest Quintile	12.9	11.3	13.1	14.3	13.6

(出所) Government of Samoa and UNDP (2010), A report on the estimation of basic needs poverty line, and the incidence and the characteristics of hardship & poverty, p.35

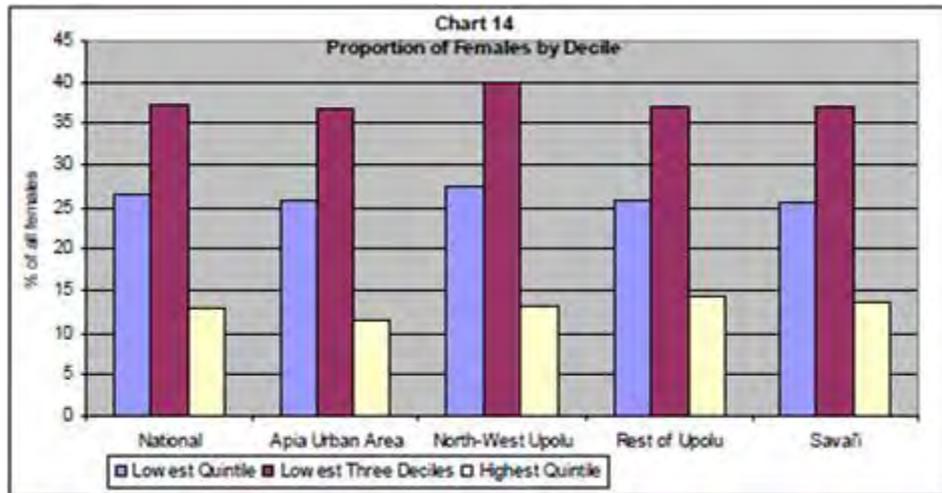
⁵⁸ 同上, pp. 35 - 36

⁵⁹ Government of Samoa and UNDP (2010) A report on the estimation of basic needs poverty line, and the incidence and the characteristics of hardship & poverty, pp.35-36

⁶⁰ http://www.undp.org/ws/Portals/12/News%20Room/Publications/Poverty%20Report/SAM_Poverty_Analysis_Report_Final_280310.pdf

⁶¹ 同上

図表 26 所得階層毎の女性の割合⁶² (2008 年)



(出所) Government of Samoa and UNDP (2010), A report on the estimation of basic needs poverty line, and the incidence and the characteristics of hardship & poverty, p.36

図表 27 所得階層毎の女性の割合⁶³ (2008 年)

Ranked by per capita HH expenditure deciles	Urban Females			Rural Females		
	<15 years	>60 years	Working Age	<15 years	>60 years	Working Age
Decile 1	47.3	4.8	47.9	46.6	5.8	47.6
Decile 2	42.3	5.7	52.0	45.5	6.4	48.1
Decile 3	40.8	7.7	51.5	41.9	8.4	49.7
Decile 4	39.0	6.8	54.1	39.5	7.0	53.5
Decile 5	39.0	10.9	50.1	39.6	11.1	49.3
Decile 6	38.7	8.0	53.4	37.8	10.0	52.2
Decile 7	34.4	9.1	56.5	33.9	7.7	58.3
Decile 8	32.8	8.3	58.9	33.4	12.2	54.3
Decile 9	31.8	8.7	59.5	28.4	15.1	56.5
Decile 10	28.3	11.2	60.5	25.6	16.2	58.2
Average	37.9	8.0	64.1	39.7	8.8	51.5
Total number of Females	17615	3719	25195	16724	3715	21651
Bottom Quintile	44.8	5.3	49.9	46.1	6.1	47.9
Lowest three deciles	43.5	6.1	50.5	44.7	6.8	48.5
Top Quintile	30.1	9.9	60.0	27.0	16.6	57.4

(出所) Government of Samoa and UNDP (2010), A report on the estimation of basic needs poverty line, and the incidence and the characteristics of hardship & poverty, p.46

(4) 雇用と貧困⁶⁴

サモアの農村部の世帯では、男性は主に農業に従事し、自家消費及び、商品作物の両方を生産しており、女性は家事に従事している。男女の賃金労働に従事する割合は、女性の場合、所得階層下位 20%の世帯の女性の約 20%、所得階層上位 20%の世帯の女性の 46%が賃金労働に従事し、男性については、所得階層下位 20%と上位 20%の賃金労働者の割合

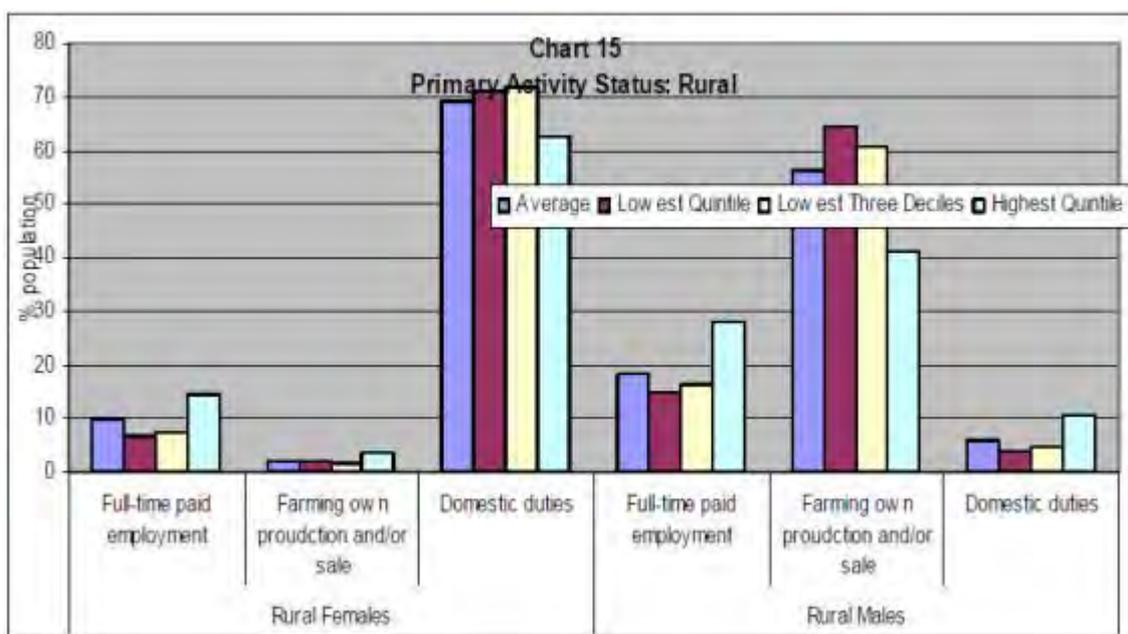
⁶² http://www.undp.org/ws/Portals/12/News%20Room/Publications/Poverty%20Report/SAM_Poverty_Analysis_Report_Final_280310.pdf

⁶³ 同上

⁶⁴ Government of Samoa and UNDP (2010), A report on the estimation of basic needs poverty line, and the incidence and the characteristics of hardship & poverty, p.36

は、それぞれ 38%、43%となっている。また、所得階層の最も低い世帯において、家事に従事している女性の割合は、農村部・都市部に関わらず 60%から 70%となっている。家事に従事している女性、農業に従事している男性は、賃金労働者として働くことが可能であるが、特に、農村部の雇用機会に限られており、雇用機会さえあれば働けるが、働いていない状況にあり、こうした雇用状況が、貧困の背景にあると推測される。

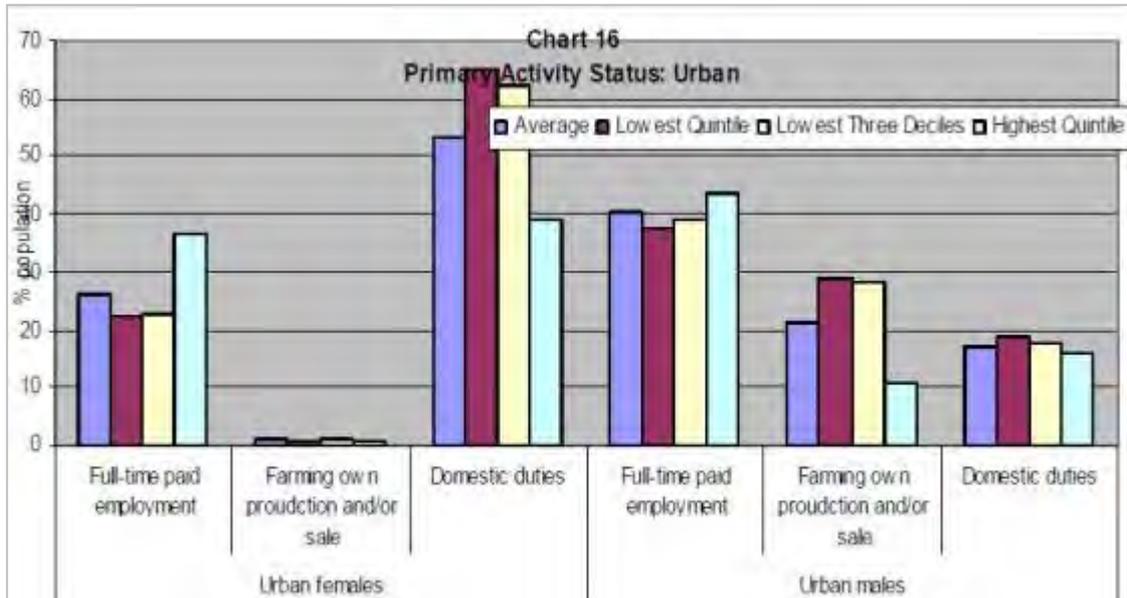
図表 28 農村部の所得階層・男女別就業形態⁶⁵ (2008 年)



(出所) Government of Samoa and UNDP (2010), A report on the estimation of basic needs poverty line, and the incidence and the characteristics of hardship & poverty, p.37

⁶⁵ http://www.undp.org/ws/Portals/12/News%20Room/Publications/Poverty%20Report/SAM_Poverty_Analysis_Report_Final_280310.pdf

図表 29 都市部の所得階層・男女別就業形態⁶⁶（2008年）



(出所) Government of Samoa and UNDP (2010), A report on the estimation of basic needs poverty line, and the incidence and the characteristics of hardship & poverty, p.37

図表 30 農村部の経済活動人口の女性の所得階層別の就業形態⁶⁷（2008年）

Ranked by per capita HH expenditure deciles	Full-time paid employment	Part-time paid employment	Self employed	Farm/plant/ fish - own consumption	Farm/plant/ fish - sale	Domestic duties	Full-time student	Unable to work (disabled)	
Decile 1	6.6	0.0	1.1	1.1	0.7	73.2	16.9	0.4	100.0
Decile 2	7.0	0.4	0.4	1.7	0.4	69.2	20.0	0.8	100.0
Decile 3	6.6	0.9	1.3	0.9	0.0	72.7	13.7	1.6	100.0
Decile 4	7.8	0.5	1.4	1.5	0.0	70.0	18.0	0.9	100.0
Decile 5	10.6	0.0	1.0	0.9	0.5	70.2	16.8	0.0	100.0
Decile 6	10.6	0.0	3.3	0.7	0.0	66.5	13.4	3.3	100.0
Decile 7	11.4	1.2	2.4	2.4	0.0	64.6	17.6	0.5	100.0
Decile 8	15.3	0.0	4.3	0.7	0.7	67.0	10.6	0.7	100.0
Decile 9	13.0	1.0	2.9	4.0	0.0	60.3	17.9	0.9	100.0
Decile 10	15.8	0.0	4.4	1.5	1.5	64.9	11.9	0.0	100.0
Average	9.7	0.4	1.9	1.4	0.3	69.1	16.2	0.9	100.0
Summary by Decile Group									
Average	9.7	0.4	1.9	1.4	0.3	69.1	16.2	0.9	
1Q	6.8	0.2	0.7	1.4	0.6	71.2	16.4	0.6	
L3D	7.4	0.4	0.9	1.2	0.4	71.7	16.9	1.0	
5Q	14.4	0.6	3.7	2.6	0.6	62.6	14.9	0.6	

(出所) Government of Samoa and UNDP (2010), A report on the estimation of basic needs poverty line, and the incidence and the characteristics of hardship & poverty, p.48

⁶⁶ http://www.undp.org/ws/Portals/12/News%20Room/Publications/Poverty%20Report/SAM_Poverty_Analysis_Report_Final_280310.pdf

⁶⁷ 同上

図表 31 都市部の経済活動人口の女性の所得階層別の就業形態⁶⁸ (2008 年)

Table A11									
Primary Economic Activity Status of Urban Females aged 15-59 years									
(% by Decile)									
Ranked by per capita HH expenditure deciles	Full-time paid employment	Part-time paid employment	Self employed	Farm/plant/ fish - own consumption	Farm/plant/ fish - sale	Domestic duties	Full-time student	Unable to work (disabled)	
Decile 1	23.7	0.0	0.0	0.0	0.5	69.6	7.4	1.1	100.0
Decile 2	21.2	0.0	1.2	0.8	0.0	63.5	12.4	0.9	100.0
Decile 3	22.5	0.0	1.3	1.7	0.0	57.2	16.2	1.1	100.0
Decile 4	19.6	0.0	1.8	1.4	0.0	63.4	13.6	0.9	100.0
Decile 5	16.3	0.0	3.8	1.0	0.0	59.9	17.4	1.6	100.0
Decile 6	25.7	0.0	3.5	0.0	0.4	52.6	17.7	0.0	100.0
Decile 7	31.4	0.0	3.2	0.0	0.0	46.7	18.2	0.5	100.0
Decile 8	28.0	0.0	4.1	0.9	0.5	41.4	25.1	0.0	100.0
Decile 9	35.4	1.0	6.1	0.0	1.1	41.9	13.4	0.0	100.0
Decile 10	37.9	1.1	3.7	0.5	0.0	36.0	14.2	0.0	100.0
Average	26.0	0.2	3.4	0.6	0.3	53.1	15.6	0.5	100.0
Summary by Decile Group									
Average	26.0	0.2	3.4	0.6	0.3	53.1	15.6	0.5	100.0
10	22.5	0.0	0.8	0.4	0.3	65.1	9.9	1.0	100.0
L30	22.5	0.0	0.8	0.5	0.2	62.4	12.0	1.0	100.0
50	36.7	1.0	7.9	0.3	0.5	39.0	13.8	0.0	100.0

(出所) Government of Samoa and UNDP (2010), A report on the estimation of basic needs poverty line, and the incidence and the characteristics of hardship & poverty, p.49

図表 32 農村部の経済活動人口の男性の所得階層別の就業形態⁶⁹ (2008 年)

Table A13									
Primary Economic Activity Status of Rural Males aged 15-59 years									
(% by Decile)									
Ranked by per capita HH expenditure deciles	Full-time paid employment	Part-time paid employment	Self employed	Farm/plant/ fish - own consumption	Farm/plant/ fish - sale	Domestic duties	Full-time student	Unable to work (disabled)	
Decile 1	17.1	1.8	0.0	53.3	8.9	5.0	12.7	1.0	100.0
Decile 2	12.7	0.9	1.3	55.1	11.5	3.1	15.4	0.0	100.0
Decile 3	19.5	2.8	6.8	42.8	10.0	5.8	11.6	0.7	100.0
Decile 4	16.2	4.9	3.5	46.8	9.2	5.3	13.2	2.1	100.0
Decile 5	16.7	1.9	3.6	55.4	4.5	7.0	10.1	0.9	100.0
Decile 6	14.3	0.6	5.2	53.2	6.5	4.2	15.0	1.1	100.0
Decile 7	23.4	0.6	4.2	48.0	5.7	4.7	13.4	0.0	100.0
Decile 8	18.9	0.0	4.4	44.2	6.4	7.7	17.1	1.3	100.0
Decile 9	23.3	0.0	8.4	40.4	3.4	11.1	13.4	0.0	100.0
Decile 10	32.4	4.2	8.0	30.4	8.3	9.8	6.8	0.0	100.0
Average	18.2	1.8	3.9	48.6	7.8	5.8	13.1	0.8	100.0
Summary by Decile Group									
Average	18.2	1.8	3.9	48.6	7.8	5.8	13.1	0.8	100.0
10	14.9	1.4	0.7	54.2	10.2	4.0	14.1	0.5	100.0
L30	16.4	1.9	2.7	50.4	10.1	4.6	13.2	0.6	100.0
50	27.9	2.1	8.2	36.4	5.8	10.5	10.1	0.0	100.0

(出所) Government of Samoa and UNDP (2010), A report on the estimation of basic needs poverty line, and the incidence and the characteristics of hardship & poverty, p.50

⁶⁸ http://www.undp.org/ws/Portals/12/News%20Room/Publications/Poverty%20Report/SAM_Poverty_Analysis_Report_Final_280310.pdf

⁶⁹ 同上

図表 33 都市部の経済活動人口の男性の所得階層別の就業形態⁷⁰ (2008 年)

Table A15 Primary Economic Activity Status of Urban Males aged 15-59 years (% by Decile)										
Ranked by per capita HH expenditure Deciles	Full-time paid employment	Part-time paid employment	Self employed	Farm/plant/ fish - own consumption	Farm/plant/ fish - sale	Domestic duties	Full-time student	Unable to work (disabled)	Total	Number of HH
Decile 1	37.2	2.6	1.4	23.8	1.0	23.4	10.3	2.4	100.0	2556
Decile 2	38.2	1.3	0.0	32.7	2.5	14.2	8.8	2.5	100.0	3051
Decile 3	41.2	2.1	1.6	26.9	0.0	15.7	9.9	2.7	100.0	2445
Decile 4	39.0	0.5	4.7	23.1	3.0	15.8	13.4	0.5	100.0	2810
Decile 5	40.0	0.5	3.3	18.1	1.6	16.9	18.0	0.6	100.0	2263
Decile 6	40.6	1.6	8.0	15.3	1.0	21.3	13.4	0.7	100.0	3515
Decile 7	42.1	1.1	8.8	20.8	1.1	15.9	12.2	0.0	100.0	2258
Decile 8	40.0	0.5	9.4	17.6	2.4	11.2	18.5	0.5	100.0	2629
Decile 9	42.6	0.0	10.1	15.5	1.1	16.1	12.6	2.1	100.0	2362
Decile 10	44.7	0.6	15.2	3.2	1.7	15.8	18.4	0.5	100.0	2310
Average	40.4	1.1	5.8	18.8	1.6	17.0	13.4	1.3	100.0	26220
Number of HH	19600	288	1480	5134	410	4462	3517	328	26220	26220
Summary by Decile Group										
Average	40.4	1.1	5.6	18.6	1.6	17.0	13.4	1.3	100.0	
HQ	37.7	2.0	0.7	27.1	1.7	18.8	9.5	2.4	100.0	
LSD	36.9	2.0	1.0	27.1	1.1	17.8	9.6	2.5	100.0	
HQ	43.8	0.3	12.6	9.3	1.4	15.9	18.0	1.3	100.0	

(出所) Government of Samoa and UNDP (2010), A report on the estimation of basic needs poverty line, and the incidence and the characteristics of hardship & poverty, p.50

(5) 教育レベルと貧困

他国と同様、サモアにおいても貧困と教育レベルには関係が見られる。サモアの教育水準は比較的高く、初等教育を修了できない割合は、都市部・農村部ともに女性の約5%、男性の約10%程度と低くなっている⁷¹。教育レベルと所得の関係について、高等教育を修了した都市部男性の27.5%は、所得の最も高い階層に属し、4.3%が所得の最も低い階層に属している。農村部でも、高等教育を修了した男性の17.6%は所得の最も高い階層に属し、3.6%が所得の最も低い階層に属している。都市部、農村部ともに、高等教育を修了した男性は、所得の最も高い階層に、最も多く所属しており、高等教育と所得水準の間に関連がみられる。女性に関しても、都市部、農村部、双方で高等教育を修了した女性は、所得の最も高い階層に最も多く所属しており、男性同様、高等教育と所得水準の間に関連がみられる。

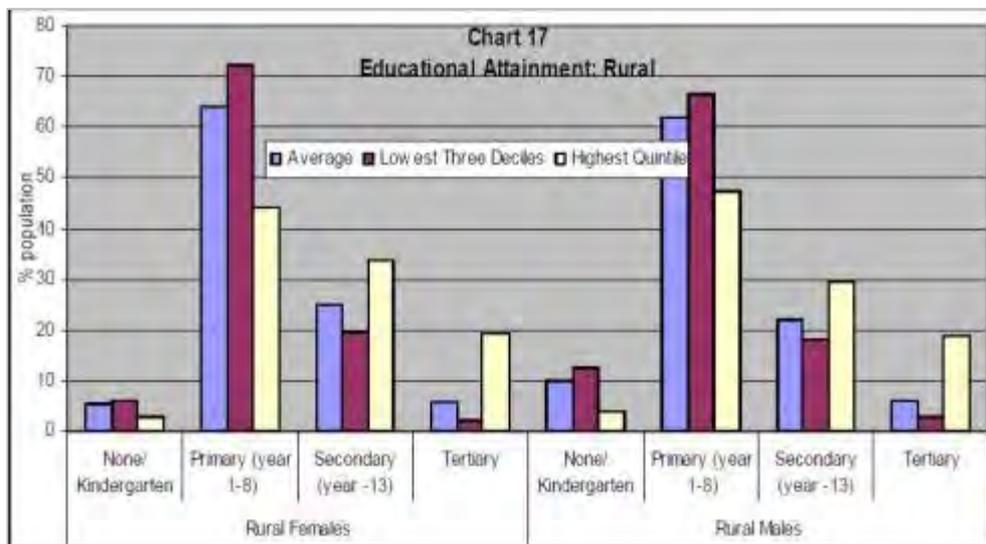
また、農村部と都市部を比較すると、都市部の方がより高いレベルの教育機関を修了する傾向があり、こうした傾向は、より良い教育を求めての農村部から都市部への移住や、子供を都市部の親戚に預ける動きを促進している⁷²。

⁷⁰ Government of Samoa and UNDP (2010) A report on the estimation of basic needs poverty line, and the incidence and the characteristics of hardship & poverty, p.37

⁷¹ 同上

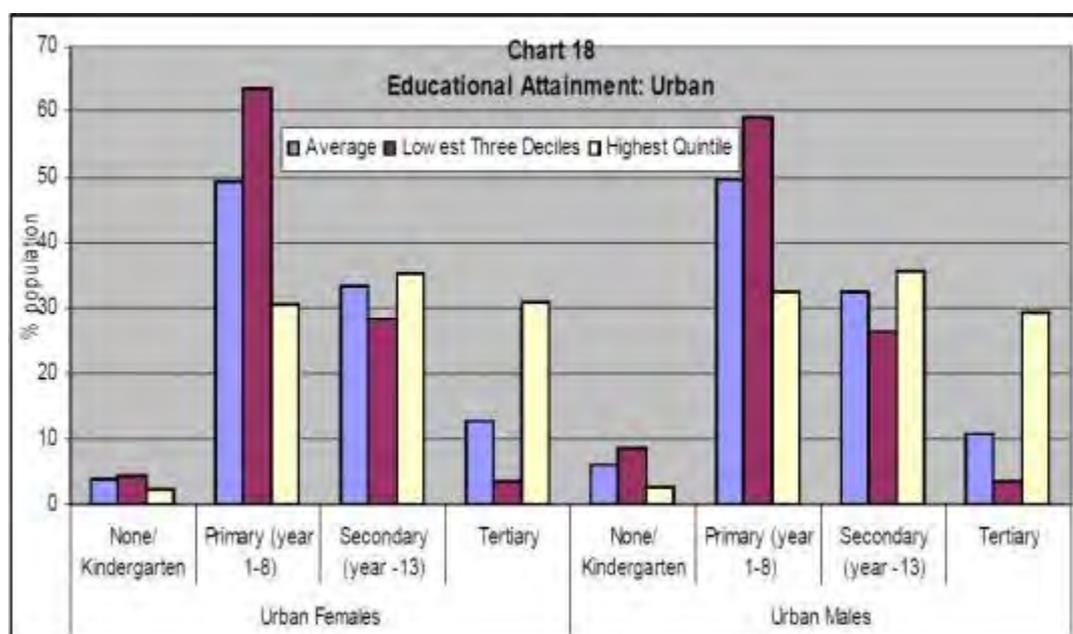
⁷² 同上

図表 34 農村部における所得階層別の学歴⁷³ (2008 年)



(出所) Government of Samoa and UNDP (2010) A report on the estimation of basic needs poverty line, and the incidence and the characteristics of hardship & poverty, p.38

図表 35 都市部における所得階層別の学歴⁷⁴ (2008 年)



(出所) Government of Samoa and UNDP (2010) A report on the estimation of basic needs poverty line, and the incidence and the characteristics of hardship & poverty, p.37

⁷³ http://www.undp.org/ws/Portals/12/News%20Room/Publications/Poverty%20Report/SAM_Poverty_Analysis_Report_Final_280310.pdf

⁷⁴ 同上

図表 36 所得階層と学歴との関連性⁷⁵ (2010 年)

Table A17						
Urban Males 15 to 59: Educational Attainment						
% by achievement level						
	None/ Kindergarten	Primary (year 1- 8)	Secondary (year - 13)	Tertiary	#N/A	
Decile 1	12.2	12.6	6.9	4.3	4.9	
Decile 2	21.2	13.0	10.6	2.3	20.3	
Decile 3	10.7	11.0	7.6	3.2	39.9	
Decile 4	8.4	12.7	10.8	2.8	9.8	
Decile 5	12.4	9.2	9.4	2.8	0.0	
Decile 6	13.6	12.5	14.4	14.2	14.7	
Decile 7	3.0	9.8	8.8	6.4	4.9	
Decile 8	10.5	7.5	12.0	15.9	5.6	
Decile 9	3.9	6.9	9.6	20.5	0.0	
Decile 10	3.9	4.8	9.8	27.5	0.0	
	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	
Number of Males	1606	12997	8535	2833	249	
1Q	33.4	25.6	17.5	6.6	25.2	
L3D	44.2	36.6	25.1	9.8	65.0	
5Q	7.8	11.7	19.5	48.1	0.0	

Table A19					
Rural Males 15 to 59: Educational Attainment					
% by achievement level					
	None/ Kindergarten	Primary (year 1-8)	Secondary (year -13)	Tertiary	#N/A
Decile 1	23.0	16.6	10.5	3.6	0.0
Decile 2	9.9	14.0	10.0	5.1	0.0
Decile 3	19.6	13.5	12.6	9.5	100.0
Decile 4	13.1	10.2	10.4	6.7	0.0
Decile 5	5.4	12.5	13.1	9.5	0.0
Decile 6	10.2	8.3	11.1	7.0	0.0
Decile 7	7.8	8.5	9.6	16.7	0.0
Decile 8	6.6	8.4	8.4	13.0	0.0
Decile 9	3.3	5.3	9.3	11.1	0.0
Decile 10	1.1	2.8	4.8	17.6	0.0
Total	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
Number of Males	2251	14028	5023	1395	13
1Q	32.9	30.6	20.6	8.8	0.0
L3D	52.4	44.1	33.2	18.3	100.0
5Q	4.4	8.1	14.1	28.7	0.0

⁷⁵ http://www.undp.org/ws/Portals/12/News%20Room/Publications/Poverty%20Report/SAM_Poverty_Analysis_Report_Final_280310.pdf

Table A21					
Urban Females 15 to 59: Educational Attainment					
% by achievement level					
	None/ Kindergarten	Primary (year 1-8)	Secondary (year -13)	Tertiary	#N/A
Decile 1	12.5	11.0	8.1	2.2	0.0
Decile 2	16.4	14.7	11.0	3.3	0.0
Decile 3	4.9	12.3	6.1	2.5	18.3
Decile 4	13.8	12.0	10.4	4.8	8.5
Decile 5	15.2	10.8	8.5	6.1	0.0
Decile 6	12.9	11.4	10.3	15.2	26.8
Decile 7	7.4	8.3	11.7	7.3	0.0
Decile 8	6.5	7.6	13.7	12.9	9.7
Decile 9	7.9	6.7	12.1	18.1	9.7
Decile 10	2.5	5.2	8.1	27.7	26.8
Total	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
Number of females	986	12413	8452	3203	142
1Q	28.9	25.7	19.1	5.5	0.0
L3D	33.9	38.0	25.2	8.0	18.3
5Q	10.4	11.9	20.2	45.8	36.6

Table A23					
Rural Females 15 to 59: Educational Attainment					
% by achievement level					
	None/ Kindergarten	Primary (year 1-8)	Secondary (year -13)	Tertiary	#N/A
Decile 1	25.4	17.4	9.8	3.7	0.0
Decile 2	8.7	15.5	10.7	7.4	0.0
Decile 3	15.0	13.1	11.1	2.8	0.0
Decile 4	7.6	12.5	12.8	7.7	0.0
Decile 5	12.9	12.4	9.2	10.7	0.0
Decile 6	10.6	5.7	12.3	16.2	0.0
Decile 7	12.3	8.8	11.1	13.5	0.0
Decile 8	1.1	7.8	9.5	9.6	100.0
Decile 9	6.4	4.4	8.8	9.2	0.0
Decile 10	0.0	2.4	4.8	19.2	0.0
Total	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
Number of females	1129	13895	5377	1268	12
1Q	34.1	32.9	20.5	11.2	0.0
L3D	49.2	46.0	31.6	14.0	0.0
5Q	6.4	6.8	13.5	28.5	0.0

(出所) Government of Samoa and UNDP (2010) A report on the estimation of basic needs poverty line, and the incidence and the characteristics of hardship & poverty, pp.51-53

2. 社会的に排除されているグループの存在と貧困の関係

(1) 農村部での貧困問題

既述のとおり、2008年の家計調査によると、貧困線（BNPL）以下の世帯の割合は、地域別では、サバイー島の貧困率が（世帯割合 21.9%、人口割合 28.8%）最も高く、次いでウポル島（20.5%、26.6%）、ウポル島北西部（19.4%、26.8%）、アピア都市部（17.2%、24.4%）の順となっており、都市部と比較し、農村分の貧困率が高い。また、地域別の貧困率の経年変化を見ると、人口に占める貧困層の割合は農村部で高い傾向が見られ、2002年の前回調査と比較し、ウポル島では 15.1%から 26.6%へ、サバイー島では 19.1%から 28.8%へと上昇している。さらに、教育等、所得以外の側面においても、都市部と農村部では格差が存在している。

図表 37 貧困率（BNPL）⁷⁶（2008年）

Incidence of Poverty		
Proportion of HH and Population with Weekly Per Capita Expenditure less than the Basic Needs Poverty Line		
%	Households	Population
	Basic Needs	Basic Needs
National average	20.1	26.9
Apia Urban Area	17.2	24.4
North-West Upolu	19.4	26.8
Rest of Upolu	20.5	26.6
Savai'i	21.9	28.8

（出所） Government of Samoa and UNDP（2010）, A report on the estimation of basic needs poverty line, and the incidence and the characteristics of hardship & poverty, p.3

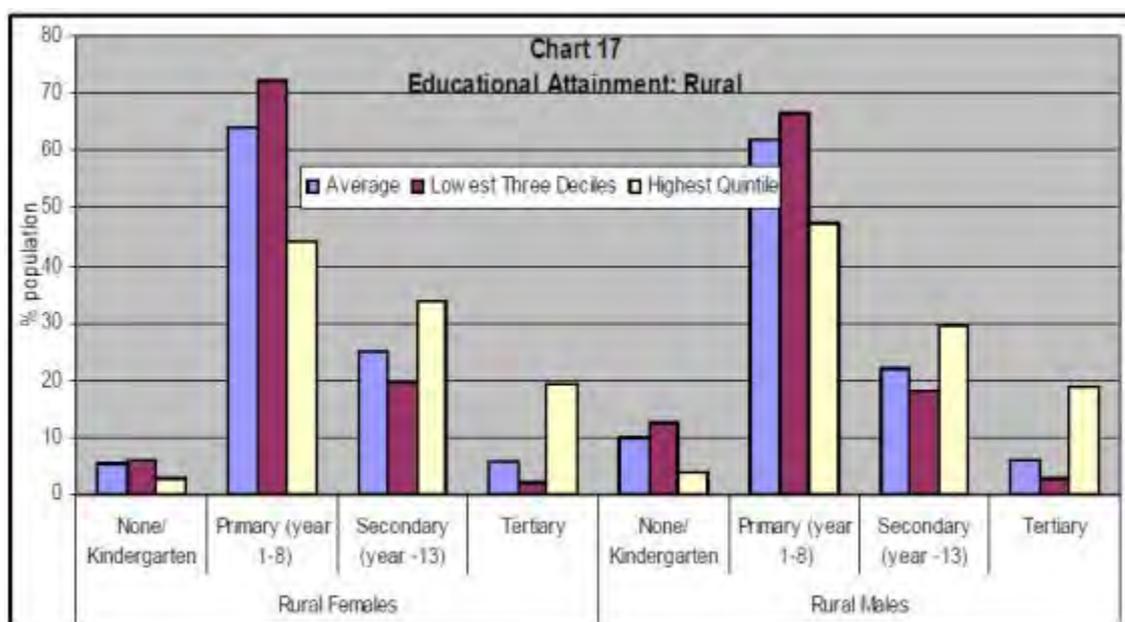
⁷⁶ http://www.undp.org/ws/Portals/12/News%20Room/Publications/Poverty%20Report/SAM_Poverty_Analysis_Report_Final_280310.pdf

図表 38 貧困率の推移⁷⁷ (2002 年及び 2008 年)

Table 13				
Incidence of Poverty				
Proportion of HH and Population with Weekly Per Capita Expenditure less than Basic Needs Poverty Line				
%	Households		Population	
	2002	2008	2002	2008
National average	19.1	20.1	22.9	26.9
Apia Urban Area	20.1	17.2	25.9	24.4
North-West Upolu	23.8	19.4	29.5	26.8
Rest of Upolu	13.4	20.5	15.1	26.6
Savai'i	17.6	21.9	19.1	28.8

(出所) Government of Samoa and UNDP (2010), A report on the estimation of basic needs poverty line, and the incidence and the characteristics of hardship & poverty, p.31

図表 39 農村部における所得階層別の学歴⁷⁸ (2008 年)

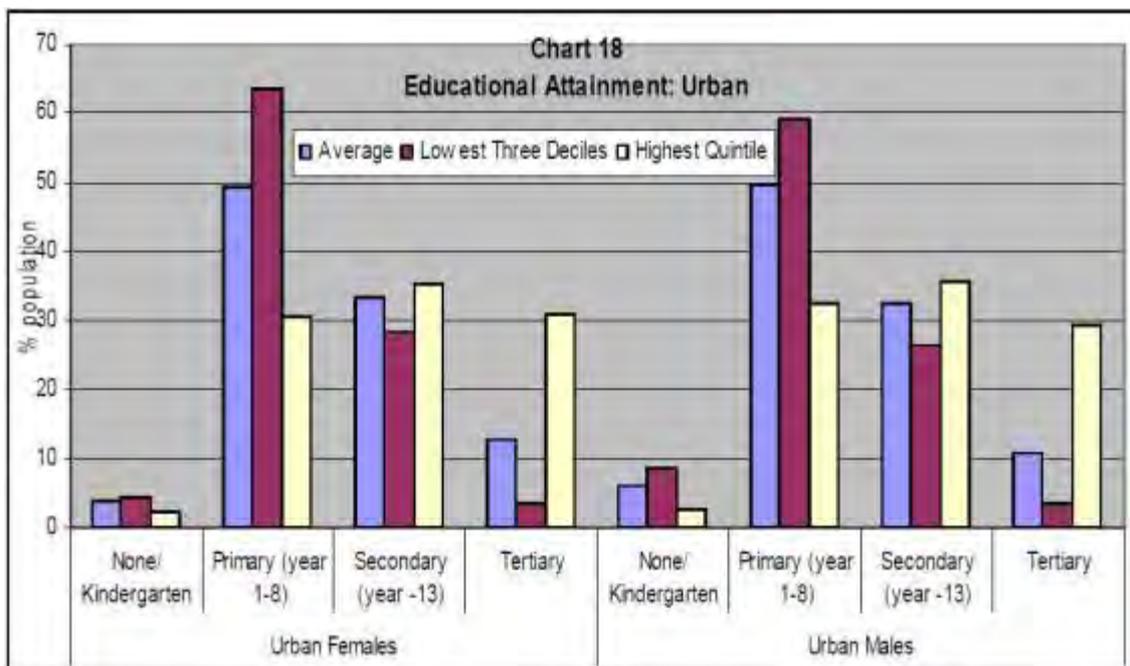


(出所) Government of Samoa and UNDP (2010), A report on the estimation of basic needs poverty line, and the incidence and the characteristics of hardship & poverty, p.38

⁷⁷ http://www.undp.org/ws/Portals/12/News%20Room/Publications/Poverty%20Report/SAM_Poverty_Analysis_Report_Final_280310.pdf

⁷⁸ 同上

図表 40 都市部における所得階層別の学歴⁷⁹ (2008 年)



(出所) Government of Samoa and UNDP (2010), A report on the estimation of basic needs poverty line, and the incidence and the characteristics of hardship & poverty, p37

(2) 若者と貧困

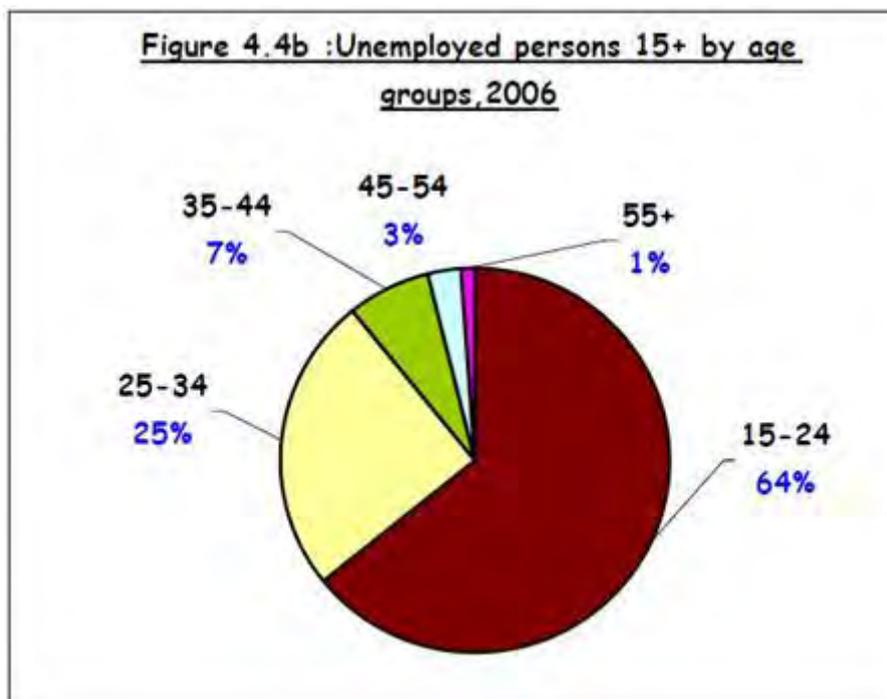
サモアの人口統計の年齢の中央値は 19.7 歳であり、サモアは若年層が多い国である⁸⁰。2002 年に実施された家計調査では、農村部から都市部へ移住した若者が経済的困難に直面していることが指摘されており、その要因として、サモア経済が若者に対して十分な雇用を提供できないことや、若者のスキル不足が挙げられている⁸¹。サモア政府が実施した 2006 年の調査によると、15 歳以上の失業者のうち、若年層（15 歳-24 歳）が 64%、34 歳以下が 89%を占めており、失業者に占める若年層の存在が際立っている。

⁷⁹ http://www.undp.org/ws/Portals/12/News%20Room/Publications/Poverty%20Report/SAM_Poverty_Analysis_Report_Final_280310.pdf

⁸⁰ ILO (2009) Decent Work Country Programme, Samoa, p.6, http://www.ilo.org/wcmsp5/groups/public/---asia/---ro-bangkok/documents/publication/wcms_120554.pdf (2012/02/09 アクセス)

⁸¹ 同上, p 8

図表 41 失業者の年齢別内訳 (2006 年)⁸²



(出所) Government of Samoa (2006) Population and Housing Census Report 2006, p. 28

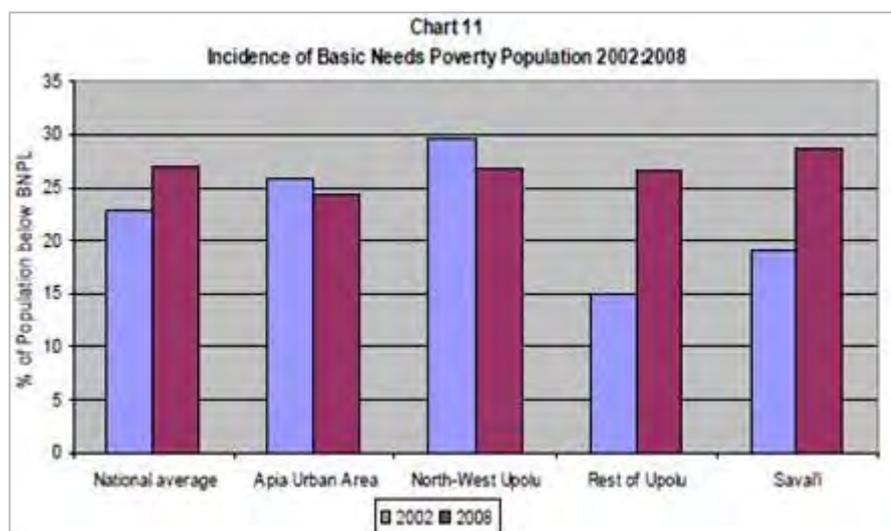
⁸²http://www.sbs.gov.ws/Portals/138/PDF/census%20survey/census2006/2006_census.pdf (2012/02/09 アクセス)

VI. 貧困に影響を与えている要因およびリスク

1. 燃料・食糧価格の高騰

サモア経済は、島嶼国であり物理的に他の経済圏から離れていること、経済の多様化が限定的であること、自然災害や環境被害を受けやすいこと、制度的能力が限られていること等により、脆弱性が高いと指摘されており⁸³、UNCTAD の経済脆弱性指標（EVI）において、111 カ国の開発途上国の中で下から 20 番目に位置付けられている⁸⁴。サモアの経済脆弱性を示す端的な例として、燃料や食糧の国際的な価格高騰に対する脆弱性がある。食糧貧困線（FPL）の推計に用いるデータによると、2008 年第 4 四半期のフードバスケットの価格は、第 1 四半期の価格と比較し、約 25% 上昇している⁸⁵。貧困線（BNPL）の 10% の上昇は、7,976 人（人口の 4.4%）、20% の上昇は 16,880 人（9.3%）の貧困人口の増加に繋がると推測されており⁸⁶、燃料や食糧価格の上昇は、貧困に影響を与える主要な要因の一つと考えられる。

図表 42 人口に占める BNPL 以下の人口の割合⁸⁷（2002 年、2008 年）



（出所） Government of Samoa and UNDP (2010) A report on the estimation of basic needs poverty line, and the incidence and the characteristics of hardship & poverty, p32

2. 自然災害

サイクロン（1990 年、91 年、2004 年）、地震、津波（2009 年）等の自然災害は、サ

⁸³ ILO (2009) Decent Work Country Programme, Samoa, p.6

⁸⁴ ADB Poverty Assessment, <http://www.adb.org/documents/caps/SAM/0102.asp>

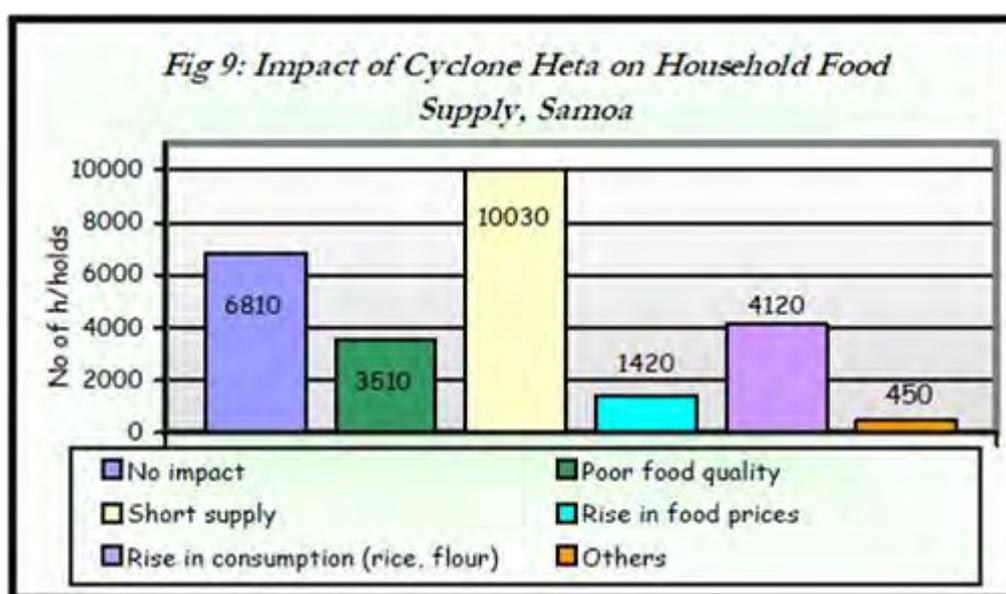
⁸⁵ Government of Samoa and UNDP (2010) A report on the estimation of basic needs poverty line, and the incidence and the characteristics of hardship & poverty, p32

⁸⁶ 同上

⁸⁷ http://www.undp.org/ws/Portals/12/News%20Room/Publications/Poverty%20Report/SAM_Poverty_Analysis_Report_Final_280310.pdf

モアの経済、社会にとって大きな脅威となっている。特に、発生頻度の高いサイクロンは、貧困層だけでなく、サモア市民、経済にとり脅威である⁸⁸。1990年のサイクロン Ofa、1991年の Val、2004年の Heta 等、1981年から2006年までの間に、サモアは15のサイクロンを経験している⁸⁹。サモア政府が実施したサイクロン Heta に関する調査によると、サイクロンの被害により、食糧供給が減少、食糧価格が上昇し、各世帯の食糧支出が増加している⁹⁰。また、多くの世帯で所得の減少も生じており、サモア市民、特に貧困層にとり、サイクロンは大きな脅威となっている。

図表 43 サイクロン Heta のサモアの各世帯の食糧安全保障への影響（2004年）⁹¹

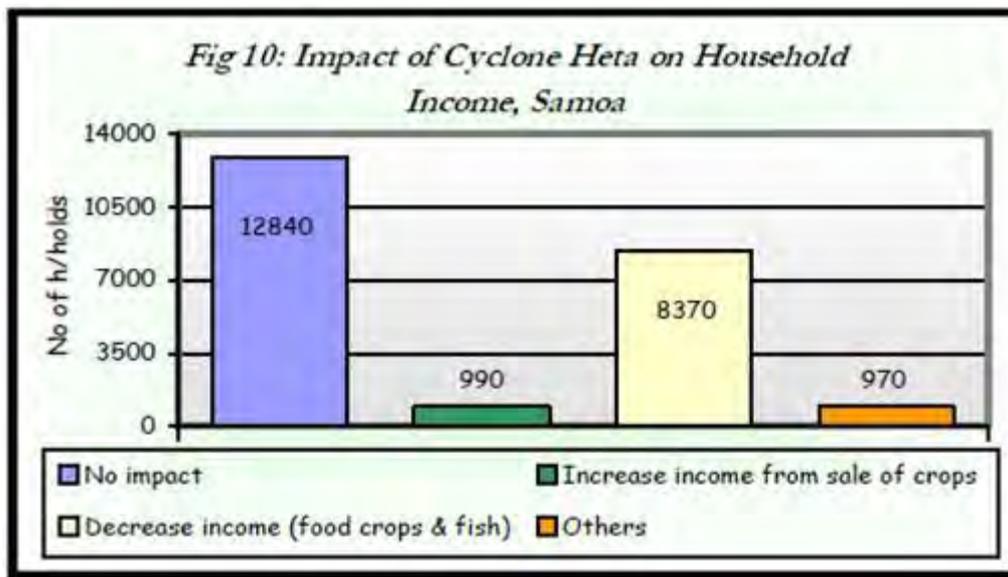
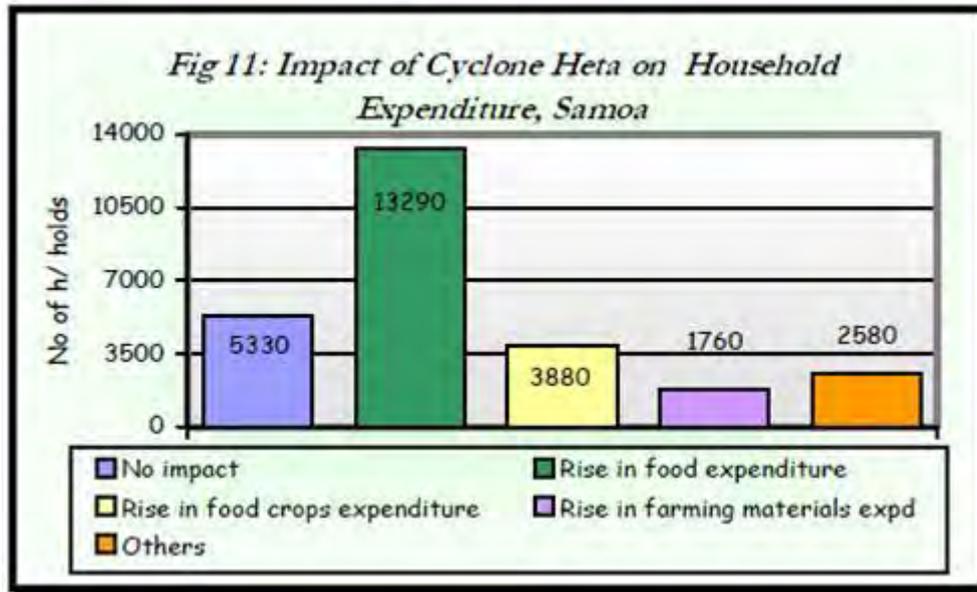


⁸⁸ UNCTAD (2006) Vulnerability profile of Samoa, March 2006, p 14, http://www.un.org/esa/policy/devplan/profile/vulnerability_profile_samoa.pdf (2012/02/13 アクセス)

⁸⁹ 同上

⁹⁰ Government of Samoa (2004) 2004 Food Security Assessment Survey, pp.12 - 14, <http://www.sbs.gov.ws/LinkClick.aspx?fileticket=8d6957wM22A%3D&tabid=5291&language=en-NZ> (2012/02/13 アクセス)

⁹¹ 同上



(出所) Government of Samoa (2004), 2004 Food Security Assessment Survey, pp.13 – 14

3. 気候変動

サモアの人口とインフラの 70%は、海拔の低い海岸線に集中しており、気候変動による海面の上昇や、海岸線の浸食は大きなリスクとなっている⁹²。サモア政府は、気候変動に対して最も脆弱なセクターとして、水、保健、農業・食糧生産、インフラ、生物多様性と漁

⁹² Government of Samoa (2010), Samoa's Second National Communication to the United Nations Framework Convention on Climate Change, p.14, http://unfccc.int/essential_background/library/items/3599.php?such=i&symbol=WSM/COM/2%20E#beg

業を挙げ⁹³、水セクターに関しては、降雨の減少による水不足、豪雨による水害、保健セクターに関しては、腸チフスやデング熱の発生、農業に関しては農作物の被害、漁業については、海水面の気温上昇に伴う沿岸漁業資源への影響等を指摘している⁹⁴。既述のとおり、農村部の貧困層は、農業や漁業による食糧の自給自足に依存する割合が高いため、気候変動は、今後も貧困に影響を与える重要なリスク要因と考えられる。

4. 海外からの送金

サモアは大洋州において MIRAB (Migration, Remittances, Aid and Bureaucracy) 経済と評されてきた⁹⁵。ニュージーランド、オーストラリア、米国等へ移住する労働人口は多く、海外からの送金は、GDP の約 23% に相当すると推計され、サモア経済において、経常収支、国際収支の主要な一部となっている⁹⁶。また、家計レベルで見た場合、送金は恒常的なものというよりは、特定のイベントや贈答に占める割合が高く、収入源としての重要性はそれほど高くないとの指摘はあるものの、多くの世帯は海外からの送金を受領しており、オーストラリア開発援助庁の調査によると、56% の世帯が少なくとも 1 箇所から送金を受領しており、38% の世帯については 2 ヶ所から送金を受領している⁹⁷。食糧や燃料価格の高騰、サイクロン等と比較すると、送金が貧困に与える影響は軽微であると考えられるが、送金により、物価が高い割には、自動車や家電製品の所有率から見た実際の生活水準は高いとの指摘⁹⁸もあり、海外からの送金の減少は、貧困に影響を与える要因の一つであると考えられる。

⁹³ 同上, p. 45

⁹⁴ 同上, pp.12-13

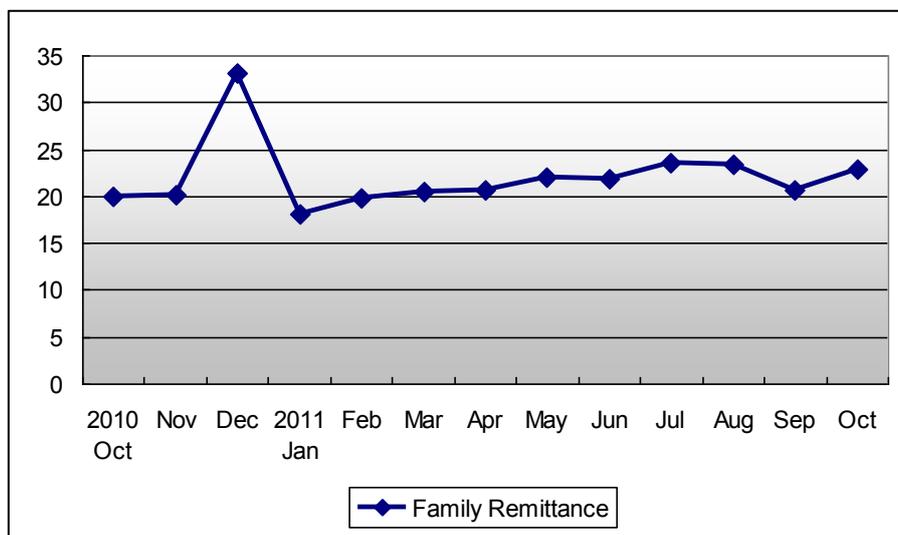
⁹⁵ Australian Agency for International Development (2008), Samoa Country Report, p129, http://www.ausaid.gov.au/publications/pdf/samoa_study.pdf (2012/02/14 アクセス)

⁹⁶ 同上

⁹⁷ Australian Agency for International Development (2008), Samoa Country Report, p129

⁹⁸ 国際協力機構 (2004), 大洋州地域大型廃棄物処理に係る基礎調査報告書, p.5, <http://libopac.jica.go.jp/search/detail.do?rowIndex=39&method=detail&bibId=0000165425> (2012/02/14 アクセス)

図表 44 海外からの送金額の推移（2010年10月-2011年10月）⁹⁹



単位：100万SAT

（出所）Central Bank of Samoa (2011), Gross Private Remittance Nov.2011,

⁹⁹ <http://www.cbs.gov.ws/statistics/pub/ter/2011/cbsstatster11Nov.T2.pdf> (2012/02/14 アクセス)

VII. JICA の優先課題における貧困

1. 環境・気候変動¹⁰⁰

サモアは、人口の 70%が海岸線の低地に居住しており、気候変動への適応が求められている。気候変動に伴い、サイクロンの規模拡大や発生頻度が増加し、サイクロンによる海面の上昇等も発生している。また、気候変動により、海岸の喪失、海岸線の生物多様性の劣化も発生している。一般に、サモアの農村部では、貧困層は、天然資源に依存して生計を立てており、特に水資源については、泉や河川の水に依存している割合が高い。気候変動により、質の高い水の供給に影響を与える洪水の発生頻度の増加、激しい降雨の増加等が見込まれ、農業や牧畜によって生計を立てている農村部の貧困層にとり、家畜の病気や農作物に対する脅威を増加させ得るものとなっている。さらに環境に関し、サモア都市部では、年間の 1 人あたりの廃棄物量は 175kg、農村部では 130kg と推計されており¹⁰¹、廃棄物処理に関する支援が引き続き求められる状況にある¹⁰²。

2. 社会サービスの向上

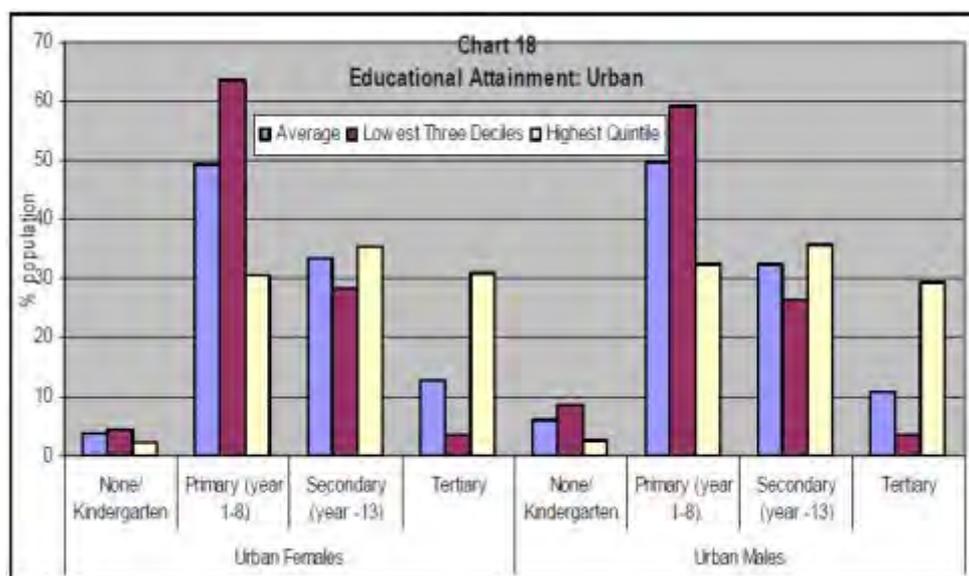
教育は、貧困状態に影響を与える最も重要な要素の一つであり、既述のとおり、高等教育を修了した都市部男性の 27.5%は、所得階層の最上位 10%に属し、4.3%が所得階層最下位 10%に属するなど、教育と貧困の関連は強い。農村部においても、高等教育を修了した男性の 17.6%は所得階層最上位 10%に属し、3.6%が所得階層最下位 10%に属するなど、地域や男女の差異に関係なく、高い教育と高い所得の間には関係がみられる。このため、教育の拡充は、貧困削減の観点からも重要であるが、初等教育から中等教育へのスムーズな移行や、若年層の識字率向上に課題があり、改善が期待される。

¹⁰⁰ World Bank, Samoa, Economics of Adaptation to Climate Change Study, <http://climatechange.worldbank.org/content/samoa-economics-adaptation-climate-change-study> (2012/02/14 アクセス)

¹⁰¹ Government of Samoa (2010), “ Samoa’s Second National Communication to the United Nations Framework Convention on Climate Change”, p22, <http://unfccc.int/resource/docs/natc/samnc2.pdf>

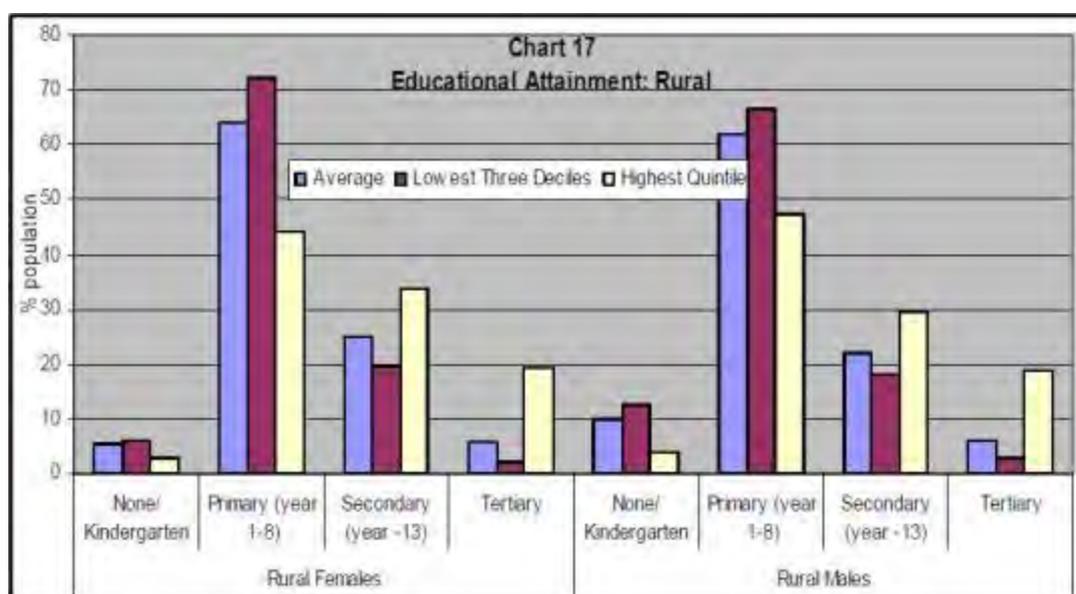
¹⁰² UNFCCC に提出された各国の National Communication によると、各国の一人当たりの廃棄物の量は、豪州 (2,080kg:2006-07 年)、ニュージーランド (749kg:2007 年)、パプア・ニューギニア (77-146kg:2000 年) となっている。また、SPRSP/JICA (2010), “ Pacific Regional Solid Waste Management Strategy 2010-2015”, p8, http://www.sprep.org/attachments/Pacific_RSWMS_2010-2015.pdf によると、大洋州の一人当たり廃棄物量は、1 日当たり 0.66kg (年間約 220kg) となっており、地域平均との比較において、サモアの一人当たり廃棄物の絶対量は、必ずしも多いとは言えない。但し、小さな島嶼国という地理的条件、十分な数の埋め立て処分場の確保が困難というサモアの社会的状況に鑑みると、重要な課題の一つに位置付けられると考えられる。

図表 45 都市部における所得階層と最高学歴の分布（2008 年）¹⁰³



(出所) Government of Samoa and UNDP (2010), A report on the estimation of basic needs poverty line, and the incidence and the characteristics of hardship & poverty, p37

図表 46 農村部における所得階層と最高学歴の分布（2008 年）¹⁰⁴



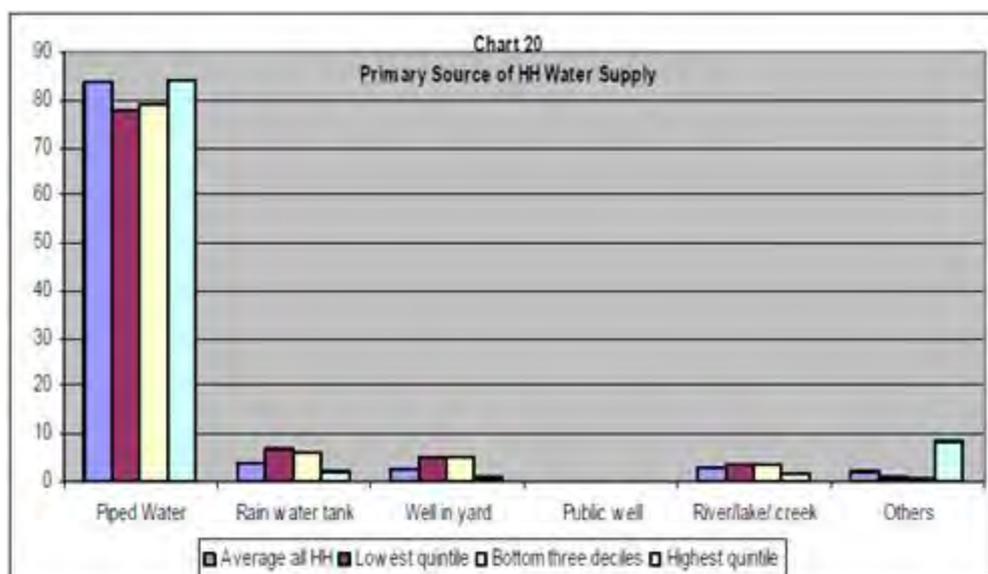
(出所) Government of Samoa and UNDP (2010), A report on the estimation of basic needs poverty line, and the incidence and the characteristics of hardship & poverty, p38

¹⁰³ http://www.undp.org/ws/Portals/12/News%20Room/Publications/Poverty%20Report/SAM_Poverty_Analysis_Report_Final_280310.pdf

¹⁰⁴ http://www.undp.org/ws/Portals/12/News%20Room/Publications/Poverty%20Report/SAM_Poverty_Analysis_Report_Final_280310.pdf

サモアの HPI 指標が、大洋州の中で比較的良い理由として、安全な水や、衛生設備へのアクセス率が高いことが挙げられる。水へのアクセスに関しては、国レベルでみると、全ての所得階層において、約 80%が水道へのアクセスを有している。衛生設備（水洗トイレ）へのアクセスに関しては、全国平均では 80%以上が、衛生設備へのアクセスを有しているが、所得階層の最下位 10%のアクセス率は 60%程度に留まっている。また、都市部と農村部を比較した場合、農村部の方が、衛生設備へのアクセスについて改善の余地が大きい。

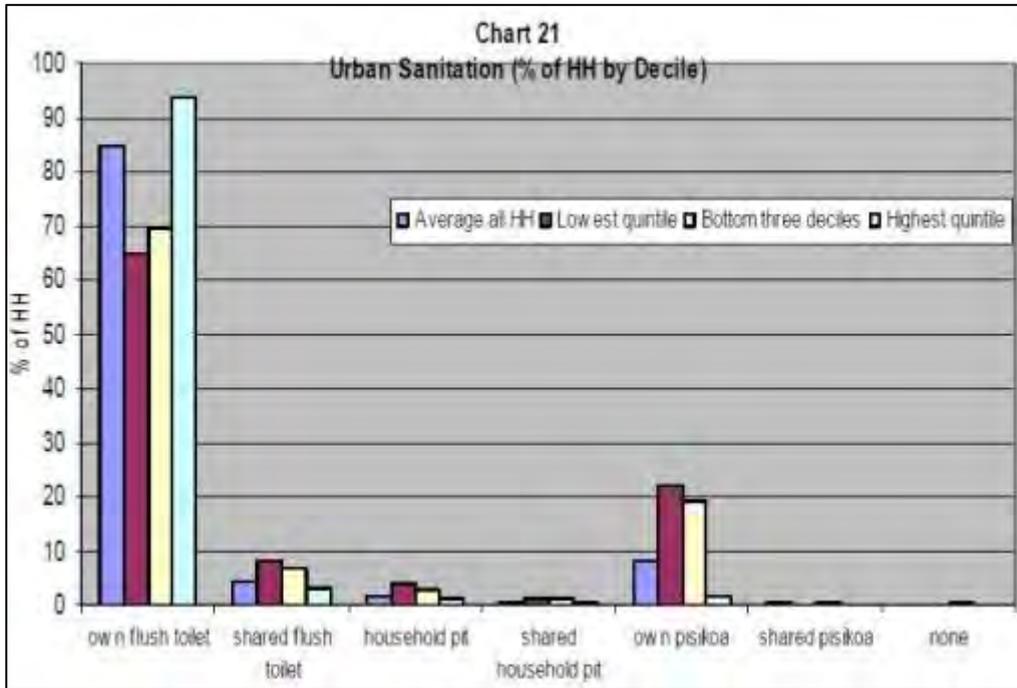
図表 47 水へのアクセスの形態（2008 年）¹⁰⁵



(出所) Government of Samoa and UNDP (2010), A report on the estimation of basic needs poverty line, and the incidence and the characteristics of hardship & poverty, p38

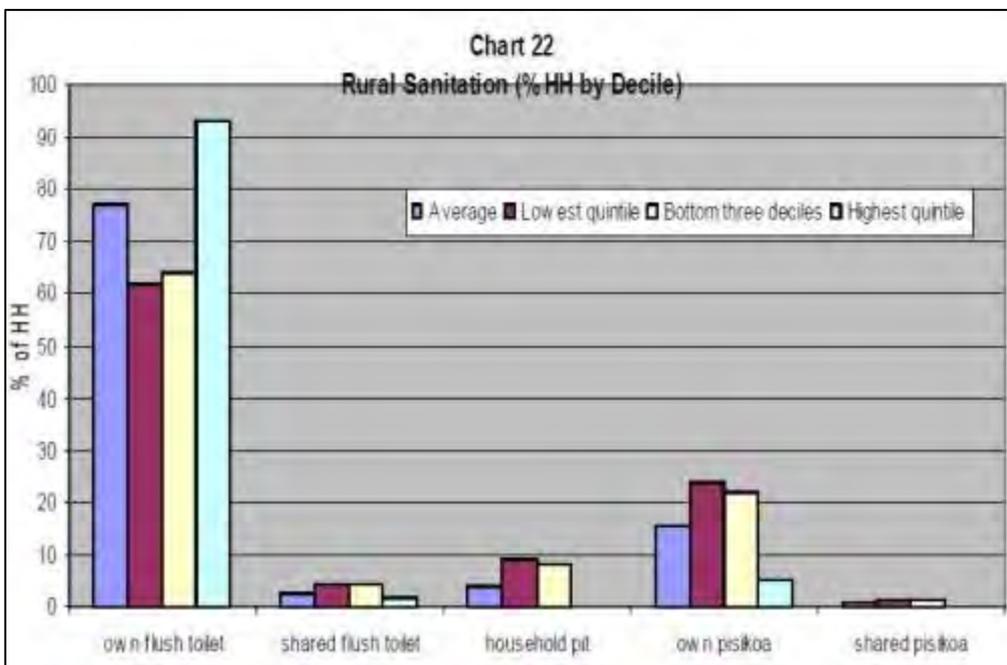
¹⁰⁵ http://www.undp.org/ws/Portals/12/News%20Room/Publications/Poverty%20Report/SAM_Poverty_Analysis_Report_Final_280310.pdf

図表 48 都市部での衛生設備に対するアクセス（2008年）¹⁰⁶



(出所) 同上

図表 49 農村部での衛生設備に対するアクセス（2008年）¹⁰⁷



(出所) Government of Samoa and UNDP (2010) A report on the estimation of basic needs poverty line,

¹⁰⁶ 同上

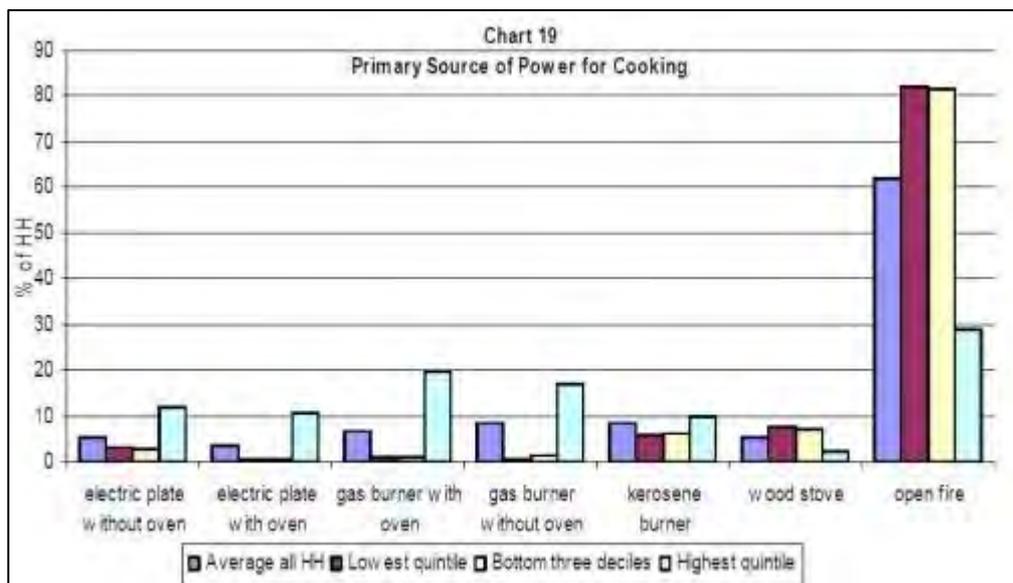
¹⁰⁷ http://www.undp.org/ws/Portals/12/News%20Room/Publications/Poverty%20Report/SAM_Poverty_Analysis_Report_Final_280310.pdf

3. インフラ整備

電力へのアクセスに関して、サモアでは、ほぼ全ての地域で電気を利用可能であり、事前に使用分だけ料金を徴収する仕組みが導入されている¹⁰⁸。そのため、各世帯は効率的な電力消費が可能になっており、世帯全体の 97%が電力を使用可能であり、所得階層の下位に属する世帯であっても、95%が電力を使用可能な状況にある¹⁰⁹。但し、電力は照明に使用されるものの、料理ではあまり使われない。下図のとおり、貧困層ほど調理の際には、薪を利用している。これらから、貧困者は電力へのアクセスが可能であっても、生活する上で多くの電力量を要する調理に関しては、現金支出を伴う電力をあまり使用しないことが示されている。

また、道路等のインフラに関しては、世界銀行が、自然災害への対応力強化を目的として、空港、道路、橋等のインフラ整備及び、インフラ資産の管理に必要なキャパシティ・ビルディングに対する支援を提供しており¹¹⁰、自然災害に対する耐性強化が期待される。

図表 50 所得階層と調理に使用するエネルギー源の分布 (2008 年)¹¹¹



(出所) Government of Samoa and UNDP (2010) A report on the estimation of basic needs poverty line, and the incidence and the characteristics of hardship & poverty, p.38

¹⁰⁸ Government of Samoa and UNDP (2010) A report on the estimation of basic needs poverty line, and the incidence and the characteristics of hardship & poverty, p38

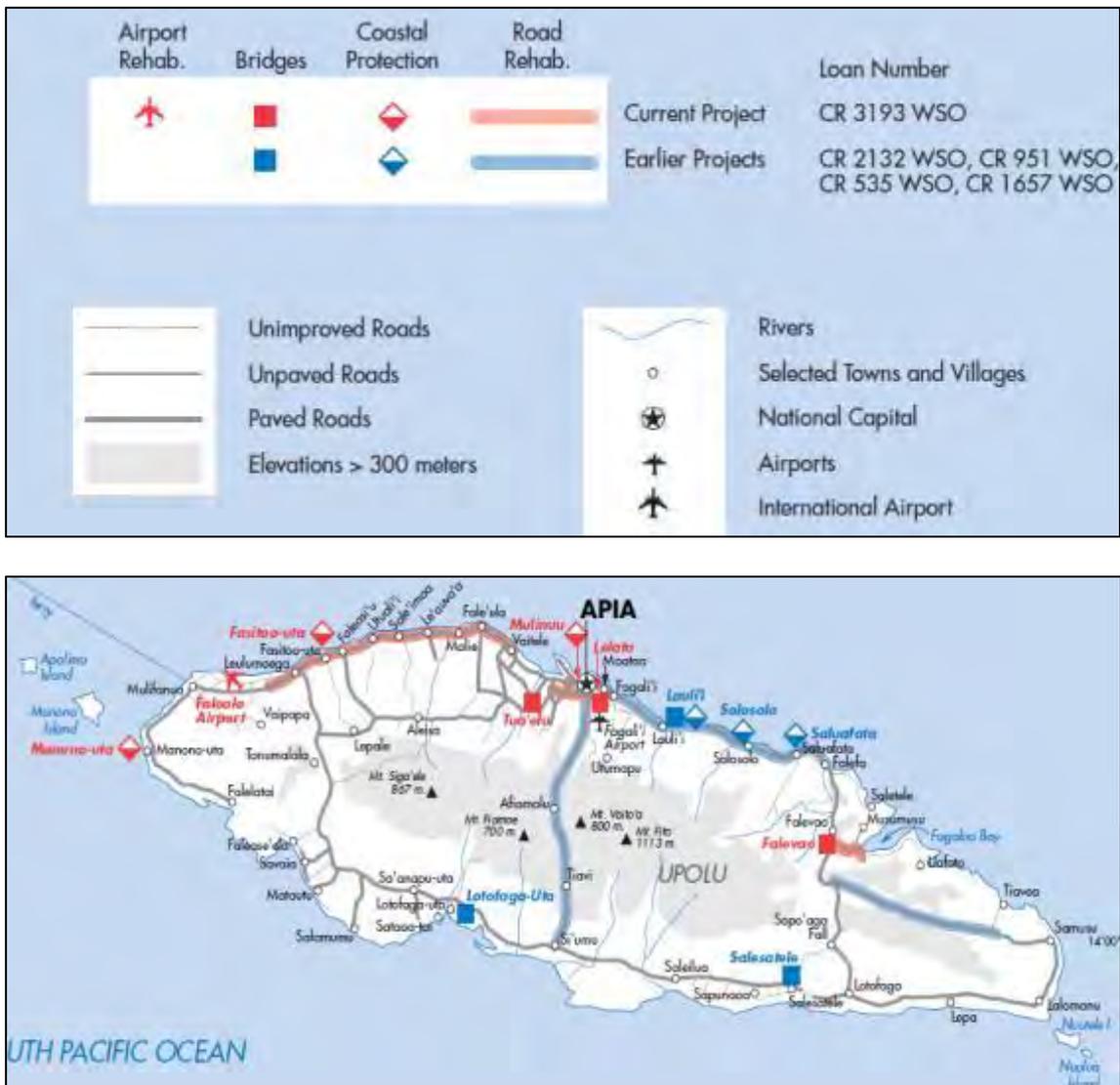
¹⁰⁹ 同上

¹¹⁰ World Bank Supports Infrastructure Development in Samoa

<http://web.worldbank.org/external/default/main?pagePK=34370&piPK=34424&theSitePK=4607&menuPK=34463&contentMDK=20012377> (2012/02/14 アクセス)

¹¹¹ http://www.undp.org/ws/Portals/12/News%20Room/Publications/Poverty%20Report/SAM_Poverty_Analysis_Report_Final_280310.pdf

図表 51 世界銀行によるサモアへのインフラ支援の状況（2006年）¹¹²



¹¹² <http://go.worldbank.org/MBBC1OVC90> (2012/02/16 アクセス)

添付 1 参考文献リスト

JICA 研究所 (2011 年) 国別主要指標 サモア

<https://libportal.jica.go.jp/fmi/xsl/library/public/data/shihyo-p.html>

国際協力機構 (2004), 大洋州地域大型廃棄物処理に係る基礎調査報告書

<http://libopac.jica.go.jp/search/detail.do?rowIndex=39&method=detail&bibId=0000165425>

ADB (2010), Proposed Program Cluster and Loan for Subprogram 1 Independent State of Samoa: Economic Recovery Support Program, p1,

<http://www2.adb.org/Documents/RRPs/SAM/43191-sam-rrp.pdf>

ADB (2000), Assessment of Socio-Environmental Performance 2001-2003,

<http://www.adb.org/documents/caps/SAM/0103.asp>

Australian Agency for International Development (2008), Samoa Country Report

http://www.ausaid.gov.au/publications/pdf/samoa_study.pdf

Central Bank of Samoa (2011), Gross Private Remittance Nov.2011

<http://www.cbs.gov.ws/statistics/pub/ter/2011/cbsstatster11Nov.T2.pdf>

FAO Global Statistics Service - Food Security Indicators, Samoa

http://www.fao.org/fileadmin/templates/ess/documents/food_security_statistics/monitoring_progress_by_country_2003-2005/Samoa_e.pdf

Government of Samoa and UNDP (2010), A report on the estimation of basic needs poverty line, and the incidence and the characteristics of hardship & poverty

http://www.undp.org.ws/Portals/12/News%20Room/Publications/Poverty%20Report/SAM_Poverty_Analysis_Report_Final_280310.pdf

Government of Samoa (2010), Samoa's Second National Communication to the United Nations Framework Convention on Climate Change

http://unfccc.int/essential_background/library/items/3599.php?such=j&symbol=WSM/COM/2%20E#beg

Government of Samoa (2008), Household Income and Expenditure Survey, Tabulation

Report 2008

<http://www.sbs.gov.ws/LinkClick.aspx?fileticket=9JbQZKwGg%2fA%3d&tabid=5547&language=en-US>

Government of Samoa (2008), Strategy for the Development of Samoa 2008 - 2012
“ensuring sustainable economic and social progress”,

<http://www.sprep.org/att/IRC/eCOPIES/Countries/Samoa/104.pdf>

Government of Samoa (2006), Population and Housing Census Report 2006

http://www.sbs.gov.ws/Portals/138/PDF/census%20survey/census2006/2006_census.pdf

Government of Samoa (2004), 2004 Food Security Assessment Survey

<http://www.sbs.gov.ws/LinkClick.aspx?fileticket=8d6957wM22A%3D&tabid=5291&language=en-NZ>

ILO (2009), Decent Work Country Programme, Samoa

http://www.ilo.org/wcmsp5/groups/public/---asia/---ro-bangkok/documents/publication/wcms_120554.pdf

SPRSP/JICA (2010), Pacific Regional Solid Waste Management Strategy 2010-2015,

http://www.sprep.org/attachments/Pacific_RSWMS_2010-2015.pdf

UNCTAD (2006), Vulnerability profile of Samoa, March 2006

http://www.un.org/esa/policy/devplan/profile/vulnerability_profile_samoa.pdf

UNDP (2010), Government of Samoa Millennium Development Goals Second progress report 2010

http://www.mof.gov.ws/Portals/195/Services/Aid%20Coordination/mdg_report.pdf

UNDP Institutions, Sustainable livelihoods in a changing Sāmoa

<http://hdr.undp.org/en/reports/national/asiathepacific/samoa/name.2792.en.html>

UNDP International Human Development Indicators, Samoa

<http://hdrstats.undp.org/en/countries/profiles/WSM.html>

UNOCHA

http://reliefweb.int/sites/reliefweb.int/files/resources/FDA9B723C05008EEC1256F2D004801D0-Samoa_rel98.jpg

World Bank (2006) Samoa - Infrastructure Asset Management Program Project, Implementation Completion and Results Report

<http://go.worldbank.org/MBBC1OVC90>

World Bank, Samoa, Economics of Adaptation to Climate Change Study

<http://climatechange.worldbank.org/content/samoa-economics-adaptation-climate-change-study>

World Bank Supports Infrastructure Development in Samoa

<http://web.worldbank.org/external/default/main?pagePK=34370&piPK=34424&theSitePK=4607&menuPK=34463&contentMDK=20012377>

添付 2 主要な情報源リスト

サモア独立国

政 府 <http://www.govt.ws/>

財 務 省 <http://www.mof.gov.ws/>

統 計 局 <http://www.sbs.gov.ws/>

中央銀行 <http://www.cbs.gov.ws/>

国際機関

国連開発グループ 国別チーム サモア

<http://www.undg.org/unct.cfm?module=CoordinationProfile&page=Country&CountryID=SAM>

世界銀行 太平洋諸島

<http://web.worldbank.org/WBSITE/EXTERNAL/COUNTRIES/EASTASIAPACIFICEXT/PACIFICISLANDSEXTN/0,,menuPK:441893~pagePK:141159~piPK:141110~theSitePK:441883,00.html>

UNDP Multicounty Office – Samoa

<http://www.undp.org.ws/>

アジア開発銀行 サモア独立国

<http://beta.adb.org/countries/samoa/main>

貧困データ

世界銀行データ

<http://data.worldbank.org/country/samoa>

国連公式 MDG データ

<http://mdgs.un.org/unsd/mdg/Data.aspx>

UNDP 人間開発指標 サモア独立国

<http://hdrstats.undp.org/en/countries/profiles/WSM.html>